

提出議題

議決事項

第一号議案	令和元年度	決算報告（案）及び監査報告	別冊
第二号議案		公益社団法人山口県看護協会定款の一部改正（案）	10
第三号議案	令和2年度	改選役員及び推薦委員の選出	12
第四号議案	令和3年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出	13

報告事項

報告事項1	令和元年度	事業報告	14
報告事項2	令和2年度	事業計画	70
報告事項3	令和2年度	収支予算書	別冊

第一号議案 令和元年度 決算報告（案）及び監査報告

(別 冊)

第二号議案 公益社団法人山口県看護協会定款の一部改正（案）

職能委員会活動の充実を図るとともに、役員任期を役職任期制に変更するため、次のとおり公益社団法人山口県看護協会定款の一部を改正します。

現 行	改正案
<p>(役員設置)</p> <p>第26条 本会に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 <u>3名以上22名以内</u></p> <p>(2) 監事 1名以上3名以内</p> <p>2 理事のうち、1名を会長、3名を副会長、1名を専務理事、2名を常務理事とする。</p> <p>3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常務理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。</p> <p>(役員任期)</p> <p>第32条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて引き続き在任することができない。</p> <p>2 監事の任期は、外部監事にあつては選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、内部監事(外部監事以外の監事をいう。以下同じ。)にあつては選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、外部監事にあつては選任後8年以内、内部監事にあつては選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて引き続き在任することができない。</p> <p>3 役員は、第26条第1項で定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。</p> <p>4 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。</p>	<p>(役員設置)</p> <p>第26条 本会に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 <u>3名以上23名以内</u></p> <p>(2) 監事 1名以上3名以内</p> <p>2 同左</p> <p>3 同左</p> <p>(役員任期)</p> <p>第32条 同左</p> <p>2 <u>前項の規定にかかわらず、理事は、会長、副会長、専務理事及び常務理事として、同一職に引続き就任するときは、就任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時まで引き続き在任することができる。</u></p> <p>3 同左</p> <p>4 同左</p> <p>5 同左</p>

<p>(職能委員会)</p> <p>第46条 本会に次の職能委員会を置く。</p> <p>(1) 保健師職能委員会</p> <p>(2) 助産師職能委員会</p> <p>(3) 看護師職能委員会</p> <p>2 職能委員会は、それぞれ、職能上の問題を審議し、会長に助言する。</p> <p>3 各職能委員会の委員長は、保健師職能、助産師職能、看護師職能の理事をもってこれに充てる。</p> <p>4 各職能委員会の委員は、理事会においてこれを選任する。</p> <p>5 各職能委員会の構成及び運営に関し必要な事項は、細則で定める。</p> <p>6 職能委員会は、委員長が招集し、その議長となる。</p>	<p>(職能委員会)</p> <p>第46条 本会に次の職能委員会を置く。</p> <p>(1) 保健師職能委員会</p> <p>(2) 助産師職能委員会</p> <p>(3) 看護師職能委員会Ⅰ</p> <p>(4) 看護師職能委員会Ⅱ</p> <p>2 同左</p> <p>3 各職能委員会の委員長は、保健師職能、助産師職能、<u>看護師職能Ⅰ及び看護師職能Ⅱ</u>の理事をもってこれに充てる。</p> <p>4 同左</p> <p>5 同左</p> <p>6 同左</p> <p>附 則</p> <p>1 この改正定款は、総会の承認を得たときから施行する。</p> <p>2 第32条の役員の任期の改正は、現任の役員から適用する。</p>
--	---

第三号議案 令和2年度 改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和2年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	西生 敏代	2	公益社団法人山口県看護協会	保健師
第一副会長	山本多賀子	2	宇部興産中央病院	看護師
第三副会長	小西 恵	2	都志見病院	助産師
理 事	大林 幸恵	2	山口労災病院	助産師
	亀永百合子	2	済生会下関総合病院	看護師
	東 由利子	2	宇部記念病院	看護師
	久保しのぶ	2	周南リハビリテーション病院	看護師
	中村 幸江	2	済生会山口地域ケアセンター	看護師
	高見由美子	2	宇部興産中央病院	看護師
	勝間とみ江	2	山陽小野田市民病院	看護師
	後根恵美香	2	全真会病院	看護師
田中 康代	2	国立病院機構関門医療センター	看護師	
監 事	上河内一枝	2	光輝病院	看護師

○令和2年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	藤 谷 正 子	1	岩国健康福祉センター	保健師
	杉 田 弘 美	1	周南市地域福祉課	保健師
	長 福 明 美	1	国立病院機構岩国医療センター	助産師
	山 川 み き	1	梅田病院	助産師
	中 塚 恵	1	周南市立新南陽市民病院	看護師
	越 智 良 子	1	山口県立総合医療センター	看護師
	渡 邊 清 美	1	宇部興産中央病院	看護師

第四号議案 令和3年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、選出された者は令和3年度の日本看護協会通常総会に出席し、山口県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に予備代議員は出席）として議決権を行使するものとする。

○令和3年度 日本看護協会通常総会代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	山本多賀子	看護師	宇部興産中央病院
2	小西 恵	助産師	都志見病院
3	片瀬 智恵	保健師	岩国市保健センター
4	出見 知子	准看護師	セントヒル病院
5	久保しのぶ	看護師	周南リハビリテーション病院
6	中村 幸江	看護師	済生会山口地域ケアセンター
7	高見由美子	看護師	宇部興産中央病院
8	勝間とみ江	看護師	山陽小野田市民病院
9	後根恵美香	看護師	全真会病院
10	田中 康代	看護師	国立病院機構関門医療センター

○令和3年度 日本看護協会通常総会予備代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	有田 稔子	保健師	個人会員
2	金子 恵子	看護師	公益社団法人山口県看護協会
3	山下美由紀	看護師	公益社団法人山口県看護協会
4	寺山 美絵	准看護師	都志見病院
5	大林 幸恵	助産師	山口労災病院
6	亀永百合子	看護師	済生会下関総合病院
7	東 由利子	看護師	宇部記念病院
8	守田 教子	看護師	光輝病院
9	石田 美江	看護師	山口県立総合医療センター
10	花島 まり	看護師	長門総合病院

報告事項1 令和元年度 事業報告

○令和元年度重点方針5項目の概要

I 地域包括ケアにおける看護力の強化と連携

地域包括ケアを推進する上では、多様な場で働く看護職間の連携が重要となる。平成30年度より開始した、在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業を3医療圏から6医療圏に拡大し、各医療圏に設置した在宅療養支援の検討会で、課題抽出を行い課題に対する研修会等を開催した。訪問看護師の育成については、訪問看護師育成支援事業（県委託）を継続すると共に、経験1年未満の訪問看護師の離職対策として、新たに「訪問看護新任者研修」を開催した。また、介護施設等で働く看護職及び介護職等の実践力の向上を目的に、施設への認定看護師の出前講座を新規事業として実施した。

II 看護職の就業と定着の促進

平成5年に山口県ナースセンターの指定を受け、無料職業紹介事業と共に就業と定着の促進のための事業を実施している。また、少子化の進行を受けて将来に向けた看護職確保を目的に、「プレナース発掘事業」として、1日ナース体験や看護職による中学校等の学校訪問・講話などにも取り組んでいる。今年度は、働き方改革関連法が4月以降に適用開始となったことの情報発信を目的に、研修会・交流会や事例報告会を実施した。また、看護職及び関係団体等に、e-ナースセンターへの登録推進、離職時の届け出等をはじめとした、ナースセンター事業の周知と活用促進の強化に努めた。

III 看護の質の向上とキャリア形成の推進

教育計画の内容充実を図り、「キャリアナース」の周知と登録を推進した。また、日本看護協会が開発した「看護師のクリニカルラダー（JNA版）」普及・啓発を目的に、県内5施設を対象に導入支援を実施した。認定看護管理者教育では、本年度は認定看護管理者カリキュラム規程の改正に対応した内容でファースト、セカンド課程を開講した。准看護師支援では、准看護師のスキルアップと進学支援を目的とした研修と交流会を継続して実施した。

IV 組織力の強化

公益法人に移行後6年が経過し、将来に向けて組織力の強化が重要な課題となっている。地域及び施設の看護職に対して本協会の事業を発信し伝えると共に、看護職が求める職能団体としての事業が実施できるよう努めた。また、県協会の経営基盤の安定化のために財務の健全運営の取り組みを推進した。日本看護協会の委託事業「看護政策推進のための組織強化事業」を継続。看護管理者の会議を開催するなど、本協会と看護管理者及び看護管理者間のネットワークづくりを推進した。広報活動の強化等により会員の増加に向けての取り組みを継続した。

V その他

- ・理事会よりの委任を受けて「山口県看護協会訪問看護ステーションの運営に係る将来的な方向性等について検討」を常務理事会で協議した。
- ・新規に、県が平成26年に開設した「山口県がん総合相談窓口」の運営を受託した。
- ・本協会は昭和22年に「日本保健婦助産婦看護婦協会山口県支部」として発足し、平成30年度には70周年を迎えた。記念事業として、創立70周年記念誌「環」の発刊と新館3階大研修室の映像・音響設備の改修を行った。また、令和元年11月30日には、公益社団法人日本看護協会会長 福井トシ子氏を迎え、記念講演会を開催した。

事業報告は、定款第4条の8つの事業に沿って掲載

- 1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
- 4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
- 6 施設の貸与に関する事業
- 7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- 8 その他本会の目標を達成するために必要な事業

※新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、令和2年2月24日から3月31日の期間に計画をしていた委員会、研修会等で中止となったものについては、主な事業内容に中止と記載した。

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 41コマ(43.5日) 一般教育研修の実施 ・教育研修会 39コマ(40日)の教育研修を実施(2コマ中止) ・受講者数：4,687人/5,320人(受講者/定員数)=88.1%
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル R1.9.19~11.22 6科目 108時間 19日間 修了者：70人 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル R1.4.26~ R1.9.21 6科目 180時間 33日間 修了者：37人
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 R1.4.24 出席者：9人 R2.1.22 出席者：9人 ②研修責任者研修3日間 17時間 受講者：23人 R1.11.5、R1.11.11、R1.12.6 ③教育担当者研修5日間 28時間 受講者：58人 R1.11.2、R1.11.5、R1.11.8、R1.11.9、R1.11.22 ④実地指導者研修5日間 28時間 受講者：123人 R1.7.7、R1.7.14、R1.7.26、R1.8.8、R1.9.18
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日間 新人助産師17人 R1.7.20 受講者 新人助産師17人 公開講座：31人 R1.8.10 受講者 新人助産師17人 公開講座：21人 R1.10.5 受講者 新人助産師17人 公開講座：7人 R1.11.23 受講者 新人助産師17人 公開講座：11人 R1.12.14 受講者 新人助産師17人 公開講座：20人 R2.2.22 受講者 新人助産師16人 ②助産実践能力向上研修 5日間 R1.7.7 受講者 助産師36人 R1.9.15 受講者 助産師31人 公開講座：5人 R1.12.7 受講者 助産師14人 公開講座：1人 R2.1.18 受講者 助産師14人 公開講座：1人 R2.2.8 受講者 助産師20人

事業項目	主な事業内容
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 第1回 R1.4.25 出席者：12人 第2回 R1.12.12 出席者：11人 ②実習指導者養成講習会 R1.8.17～11.15 修了者：30人 ③実習指導者と看護教員の相互研修 研修Ⅰ R1.9.23、24(2日間) 受講者：49人 研修Ⅱ R1.11.14 受講者：78人 ④実習指導アドバイザー派遣 申し込み施設 山陽小野田市民病院 支援施設 山口赤十字病院 1回目 R1.10.8 2回目 R1.12.3
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 3回開催 (1)第1回検討会・打合せ会 R1.6.11 (2)第2回検討会・打合せ会 R1.10.18 (3)第3回検討会 R2.1.21 ②研修の実施 前期 R1.7.13、23、8.7(3日間) 受講者：62人(修了証発行62人) 後期 R1.11.16、26、12.10(3日間) 受講者：52人(修了証発行50人)
(7)インターネット配信研修 【オンデマンド】 (日本看護協会委託)	①「認知症高齢者の看護実践必要な知識」(認知症ケア加算2対象研修) 2回開催 R1.9.11、12(2日間) 受講者：140人(修了証発行136人)、 研修ファシリテータ(認知症看護認定看護師1人) R1.10.8、9(2日間) 受講者：106人(修了証発行105人)、 研修ファシリテータ(認知症看護認定看護師1人) ②災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～ (災害支援ナース研修基礎編として実施) R1.7.30、31(2日間) 受講者及び修了者：63人
(8)その他研修	①重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 1回 R1.6.30(1日間) 受講者：195人 ②看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 R1.7.10 受講者：118人 ③看護師のクリニカルラダー ・JNA版DVD研修 R1.9.11 受講者：37人 ・JNA版クリニカルラダー作成のための講習会 R1.10.23、R2.2.7(2日間) 参加施設：5施設 ④診療報酬改定説明会(中止)
(9)委員会	①教育委員会 8回 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回
(10)日本看護協会との連携会議 研修への参加	①都道府県看護協会教育担当者会議 R1.7.31 出席者：1人

事業項目	主な事業内容
<p>2) 医療安全推進事業</p> <p>(1) 医療安全管理者の養成および実践能力向上のための研修</p> <p>(2) 医療安全推進事業</p> <p>(3) 医療安全管理体制の構築・充実</p> <p>(4) 看護職賠償責任保険の加入促進</p> <p>(5) 委員会</p> <p>(6) 日本看護協会との連携</p>	<p>①「医療安全管理者養成研修」(7日間45時間の研修) R1.8.2～R1.10.4 受講者：54人 修了者：53人 ・医療安全管理者養成研修フォローアップ R2.2.7 受講者：36人</p> <p>②医療安全管理者養成研修の一部の科目を公開講座とした</p> <p>③医療安全管理者スキルアップ研修 R2.3.15(中止)</p> <p>①医療・安全啓発 ・医療安全情報きらめき掲載(Vol. 144,145,146) ・医療事故調査制度等、医療・安全に関する情報提供 ・「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の啓発・普及電子版の活用促進</p> <p>①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。圏域代表との意見、情報交換。</p> <p>②医療安全管理者交流会の開催 R1.12.20 参加者：31人</p> <p>①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・研修受講者への加入促進</p> <p>②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の紹介</p> <p>①医療安全推進委員会 5回 会報「きらめき」での委員会活動紹介</p> <p>①「医療事故調査に係る看護職専門家」として、GRMを1人推薦</p>
<p>3) 学会等学術集会に関する事業</p> <p>(1) 山口県看護研究学会開催</p> <p>(2) 委員会</p>	<p>第19回山口県看護研究学会 R2.3.7(中止)</p> <p>①学会委員会 4回 R2.2.29の委員会は中止したが、第19回山口県看護研究学会中止による対応について、担当理事、学会委員長、事務局による協議を実施</p>

事業項目	主な事業内容
4)図書室運営に関する事業 (1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ・書籍購入 定期購読雑誌・学会誌(22タイトル)：218冊 書籍：37冊 冊子：49冊 ビデオDVD：0本 ②図書貸出 書籍・ビデオDVD貸出：507件 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 医学中央雑誌へ文献複写依頼：6件・他機関への文献複写依頼：3件 山口県看護研究学会論文集・集録集・抄録集の文献複写依頼：4件 ④図書室利用者：419人 岩国：15人 柳井：20人 周南：100人 防府：81人 山口：86人 宇部：36人 小野田：23人 長門：7人 萩：6人 豊浦：2人 下関：19人 会員外(非会員・学生)：24人
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 学会誌：1冊 雑誌：3冊 ②最新看護索引Web機関版の利用

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容																														
1)ナースセンター事業 (1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	ナースセンター運営協議会 R2.24 出席者：16人																														
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第5次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・求人・求職相談件数H31.4～R2.3 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>908</td> <td>1,440</td> <td>2,348</td> </tr> </table> ・求人・求職・就職者数 H31.4～R2.3 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>就職者</th> <th>就職率</th> <th>求人倍率</th> </tr> <tr> <td>4,592</td> <td>1,354</td> <td>154</td> <td>11.4%</td> <td>3.39</td> </tr> </table>	求人	求職者	合計	908	1,440	2,348	求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率	4,592	1,354	154	11.4%	3.39														
求人	求職者	合計																													
908	1,440	2,348																													
求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率																											
4,592	1,354	154	11.4%	3.39																											
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	①再就業支援研修(地域協力施設・訪問看護ステーションにおける研修) 開催時期 R1.5～R2.3 随時開催 研修期間 26病院・訪問看護ステーションの協力のもと3～5日間の研修 受講者：18人のうち就業者14人(就業率 78%) ・地域別研修受講状況 R1.5～R2.3 <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>周南</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>18</td> </tr> </table> ・資格別研修受講状況 R1.5～R2.3 <table border="1"> <tr> <th>資格</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>18</td> </tr> </table>	地域	岩国	周南	防府	山口	宇部	萩	下関	合計	人数	0	2	2	7	2	1	4	18	資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	3	1	12	2	18
地域	岩国	周南	防府	山口	宇部	萩	下関	合計																							
人数	0	2	2	7	2	1	4	18																							
資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計																										
人数	3	1	12	2	18																										

事業項目	主な事業内容																																																			
(4)再就業コーディネーターの配置(山口県委託)	<p>②未就業看護職者対象研修(集合研修) 1回目R1.6.26 参加者：4人 2回目R1.10.11 参加者：8人</p> <p>③調整会議 R2.1.28</p> <p>④チラシを作成し県内病院、ハローワーク、行政機関、図書館、相談者等に配布</p> <p>①再就業コーディネーターによるハローワークでの出張相談、就業支援 ・ハローワーク別出張相談状況 R1.5～R2.3</p> <table border="1" data-bbox="596 607 1410 703"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>徳山</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table> <p>*R2.3のハローワーク相談は中止。</p> <p>②再チャレンジ研修の調整、受講者の就業相談支援</p> <p>③臨床心理士による専門相談 第4火曜日に実施</p> <table border="1" data-bbox="596 808 1410 875"> <thead> <tr> <th></th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>*R2.3の相談は中止。</p> <p>④調整会議 第1回 H31.4.23 第2回 R2.3.3</p> <p>⑤就業サポーターとの合同会議 R1.11.29</p> <p>⑥ハローワーク出張相談に関するチラシを作成し、県内病院、ハローワーク、行政機関、図書館、相談者等に配布</p>	地域	岩国	徳山	防府	山口	宇部	萩	下関	合計	回数	10	10	10	10	10	10	10	70	件数	12	15	18	22	20	3	17	107		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	件数	2	2	2	2	0	0	0	1	1	0	10
地域	岩国	徳山	防府	山口	宇部	萩	下関	合計																																												
回数	10	10	10	10	10	10	10	70																																												
件数	12	15	18	22	20	3	17	107																																												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計																																									
件数	2	2	2	2	0	0	0	1	1	0	10																																									
(5)就業支援サポーターの配置(山口県委託)	<p>①就業支援サポーターによるサテライトでの相談、就業支援 R1.5～R2.3</p> <table border="1" data-bbox="596 1155 1410 1252"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国・柳井</th> <th>周南</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩・長門</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>*R2.3のサテライト相談は中止。</p> <p>②サテライトからの施設・看護学校訪問 29件</p> <p>③調整会議 第1回 H31.4.23 第2回 R2.3.3</p> <p>④再就業コーディネーターとの合同会議 R1.11.29</p> <p>⑤サテライトにおける相談に関するチラシを作成し、県内病院、ハローワーク、行政機関、図書館、相談者等に配布</p>	地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計	回数	10	10	10	10	10	10	60	件数	2	3	17	6	0	2	30																											
地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計																																													
回数	10	10	10	10	10	10	60																																													
件数	2	3	17	6	0	2	30																																													
(6)看護師等就業協力員の育成(山口県委託)	<p>①看護師等就業協力員研修会の開催 R1.6.4 参加者：20人 「これからの働き方改革」について</p> <p>②活動内容：進路相談、学校訪問、看護の日や看護週間等に行う各種行事への参加や潜在看護師等の就業相談、県民からの看護に関する問い合わせへの対応。</p>																																																			

事業項目	主な事業内容																				
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	①貸出件数 H31.4～R2.3 <table border="1" data-bbox="598 324 1045 616"> <thead> <tr> <th>器材名</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>万能型成人実習モデル</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>呼吸音聴取シミュレーター</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>吸引シミュレーター</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>採血・静脈シミュレーター</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>装着式採血静脈練習キット</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター男性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>導尿・浣腸シミュレーター女性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	器材名	計	万能型成人実習モデル	2	呼吸音聴取シミュレーター	3	吸引シミュレーター	5	採血・静脈シミュレーター	11	装着式採血静脈練習キット	0	導尿・浣腸シミュレーター男性	3	導尿・浣腸シミュレーター女性	4	合計	28		
器材名	計																				
万能型成人実習モデル	2																				
呼吸音聴取シミュレーター	3																				
吸引シミュレーター	5																				
採血・静脈シミュレーター	11																				
装着式採血静脈練習キット	0																				
導尿・浣腸シミュレーター男性	3																				
導尿・浣腸シミュレーター女性	4																				
合計	28																				
(8)離職者・未就業者届出 サポート(山口県委託)	①病院一括届出の連携体制の整備 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート ④届出者の状況 H31.4～R2.3 <table border="1" data-bbox="598 795 957 952"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>届出数</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>うち電話対応数</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>うち復職意向あり</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>うちeナース登録</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> ⑤届出者を対象とした実態調査 対象者：300人 回答：72人 回答率24%	項目	人数	届出数	350	うち電話対応数	186	うち復職意向あり	163	うちeナース登録	62										
項目	人数																				
届出数	350																				
うち電話対応数	186																				
うち復職意向あり	163																				
うちeナース登録	62																				
(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)	①看護職再就業支援相談会のあり方検討会(ハローワーク連携事業も兼ねる) 2回 第1回 R1.7.25 参加者：9人 第2回 R2.2.28 参加者：10人 ②看護職再就業支援相談会の開催(ハローワークと共催) <table border="1" data-bbox="598 1198 1412 1400"> <thead> <tr> <th></th> <th>山口会場</th> <th>下関会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>R1.10.18</td> <td>R1.11.6</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>パルトピアやまぐち</td> <td>下関社会福祉会館</td> </tr> <tr> <td>面談会参加施設数</td> <td>18</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>面談者数</td> <td>21</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>うち就業者数</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		山口会場	下関会場	開催日	R1.10.18	R1.11.6	場所	パルトピアやまぐち	下関社会福祉会館	面談会参加施設数	18	23	面談者数	21	19	うち就業者数	6	6		
	山口会場	下関会場																			
開催日	R1.10.18	R1.11.6																			
場所	パルトピアやまぐち	下関社会福祉会館																			
面談会参加施設数	18	23																			
面談者数	21	19																			
うち就業者数	6	6																			
(10)看護技術演習(個人研修)	①毎月第1金曜日、第4火曜日に実施 ・演習内容別参加状況 R1.5～R2.3 <table border="1" data-bbox="598 1500 1045 1568"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>採血・注射</th> <th>吸引</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>38</td> <td>13</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> ・資格別研修参加状況 R1.5～R2.3(複数の資格保有あり) <table border="1" data-bbox="598 1601 1260 1668"> <thead> <tr> <th>資格</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> ※R2.3の看護技術演習は中止	内容	採血・注射	吸引	合計	人数	38	13	51	資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	3	0	38	12	53
内容	採血・注射	吸引	合計																		
人数	38	13	51																		
資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計																
人数	3	0	38	12	53																
(11)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国民紹協) 開催日：R1.6.25 出席者：1人 ②山口県看護職員確保対策協議会(県) 開催日：R1.7.11 出席者：1人																				

事業項目	主な事業内容																																																														
<p>(12)日本看護協会との連携</p> <p>2)プレナース発掘事業</p> <p>(1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)</p> <p>(2)1日ナース体験(山口県委託)</p> <p>(3)看護の魅力発見(山口県委託)</p> <p>(4)看護職員の学校訪問(山口県委託)</p>	<p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター) 開催日：R1.5.23 出席者：1人</p> <p>②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター) 開催日：R1.5.24 出席者：1人</p> <p>③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会 開催日：R1.9.25 出席者：1人</p> <p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p> <p>①作成80,000枚</p> <p>②配布</p> <table border="1" data-bbox="595 707 1410 808"> <thead> <tr> <th>配布先</th> <th>配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内の中学校(154校)・高等学校(95校)</td> <td>72,850</td> </tr> <tr> <td>県内各病院、看護師等学校、県および市町等の関係機関</td> <td>7,150</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護への興味・関心を高めるための1日ナース体験(施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流)を59の協力病院において実施 開催時期：夏休み中 参加者：中学生274人 高校生415人</p> <p>看護の魅力PRするとともに、看護について楽しみながら学べる場を提供し、看護職を目指す進路を実現していく契機とする</p> <p>①看護の魅力発見開催状況(人数)</p> <table border="1" data-bbox="595 1120 1410 1384"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>開催日</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下関市立市民病院</td> <td>9.28</td> <td>23</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>国立病院機構 関門医療センター</td> <td>10.19</td> <td>58</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>国立病院機構 山口宇部医療センター</td> <td>10.19</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>周東総合病院</td> <td>10.26</td> <td>57</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>山口労災病院</td> <td>11.17</td> <td>59</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護の魅力発見では、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談など実施病院の特性を生かした内容で実施</p> <p>②看護の魅力発見実行委員会を2回開催 第1回 R1.8.9 第2回 R1.12.6</p> <p>①看護師等就業協力員及びナースセンター職員による中学校訪問の実施</p> <table border="1" data-bbox="595 1592 1007 1912"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>訪問校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>柳井</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周南</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>防府・山口</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>宇部・山陽小野田</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>長門</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>下関</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>*R2.2、3の訪問は中止。</p>	配布先	配布枚数	県内の中学校(154校)・高等学校(95校)	72,850	県内各病院、看護師等学校、県および市町等の関係機関	7,150	施設名	開催日	小学生	中学生	高校生	その他	下関市立市民病院	9.28	23	8	3	40	国立病院機構 関門医療センター	10.19	58	0	0	49	国立病院機構 山口宇部医療センター	10.19	14	8	1	34	周東総合病院	10.26	57	3	0	110	山口労災病院	11.17	59	12	12	155	地域	訪問校数	岩国	4	柳井	3	周南	4	防府・山口	1	宇部・山陽小野田	8	長門	3	萩	2	下関	8	合計	33
配布先	配布枚数																																																														
県内の中学校(154校)・高等学校(95校)	72,850																																																														
県内各病院、看護師等学校、県および市町等の関係機関	7,150																																																														
施設名	開催日	小学生	中学生	高校生	その他																																																										
下関市立市民病院	9.28	23	8	3	40																																																										
国立病院機構 関門医療センター	10.19	58	0	0	49																																																										
国立病院機構 山口宇部医療センター	10.19	14	8	1	34																																																										
周東総合病院	10.26	57	3	0	110																																																										
山口労災病院	11.17	59	12	12	155																																																										
地域	訪問校数																																																														
岩国	4																																																														
柳井	3																																																														
周南	4																																																														
防府・山口	1																																																														
宇部・山陽小野田	8																																																														
長門	3																																																														
萩	2																																																														
下関	8																																																														
合計	33																																																														

事業項目	主な事業内容
3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業 研修会 ・R1.8.10 講演「働き方改革の実現に向けて」、グループワーク 受講者：64人(看護職57人 看護補助者3人 介護職4人) ・R2.1.11 事例報告「当法人で取り組んだ働き方改革」、グループワーク 受講者：59人(看護職45人 看護補助者1人 介護職7人 事務職4人 リハビリ職2人) 相談会 0件
(2)日本看護協会との連携	①2019年度都道府県看護協会看護労働担当者会議 R1.5.22 出席者：1人
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣事業 (山口県委託)	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象施設に働き方等に関するアドバイザーを派遣する業務 依頼 0件

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業 (1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 8回 ②支部職能委員との合同会議 1回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 R1.6.22 参加者：42人 ②保健師職能交流会の開催 ・保健師カフェの開催 R1.6.22 テーマ「公衆衛生と保健師活動」「保健師間の連携」 ・第2回保健師交流会 R2.3.15(中止) ③ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載(Vol.144、145、146) ④ホームページ、ニュースレター等による情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画
ウ 会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページによる情報発信

事業項目	主な事業内容
<p>(2)助産師職能委員会</p> <p>ア 助産実践能力向上研修</p> <p>イ 包括的母子保健推進における助産機能の強化</p> <p>ウ 災害発生時に対応する周産期における体制整備と情報共有</p> <p>エ 助産師出向システムの推進</p> <p>オ 助産師ネットワークの強化</p> <p>カ 広報活動推進</p>	<p>①助産師職能委員会 6回</p> <p>②支部職能委員との合同会議 2回</p> <p>③全国職能委員長会 1回</p> <p>④地区別助産師職能委員長会 1回</p> <p>①新人助産師研修の企画・運営・評価 6回 新人助産師研修受講生：17人 延べ受講生：191人</p> <p>②助産実践能力向上研修の企画・運営・評価 5回 助産師研修受講生：79人 延べ受講生：122人</p> <p>③アドバンス助産師の活躍と所属する看護管理者の意見を会報「きらめき」で紹介(Vol.145)</p> <p>①支部合同会議 R1.9.27 情報共有と検討</p> <p>①助産師防災マニュアルの整備と普及活動</p> <p>②災害発生時の対応や訓練状況について情報共有</p> <p>①助産出向支援導入事業について周知</p> <p>②助産師出向支援導入事業に参画</p> <p>①助産師職能集会 R1.7.7 参加者：34人 テーマ『困難な状況にある』親への支援～地域精神医療の実践をふまえ精神的に不安定な保護者への支援方法を考える～</p> <p>②支部連携：支部合同研修開催、新人助産師研修の共同運営</p> <p>③ホームページの活用</p> <p>④中四国ワークショップ(徳島県で開催)参画と県内助産師の参加</p> <p>①国際助産の日イベントを各支部で開催</p> <p>②セーフマザーフット基金の啓発</p>
<p>(3)看護師職能委員会</p> <p>ア 調査・研究活動</p>	<p>①看護師職能委員会 8回</p> <p>②支部職能委員との合同会議 1回</p> <p>③全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回</p> <p>④地区別看護師職能委員長会 1回</p> <p>①看護師職能Ⅰ部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築に向けた病院看護管理者と行政保健師の連携強化に向けた情報収集のための調査 ・看護師のクリニカルラダー JNA版DVD研修、JNA版クリニカルラダー作成のための講習会等に係る企画・運営・評価

事業項目	主な事業内容
イ 連携および意識向上のための取り組み	①看護師職能Ⅱ部会 ・Ⅱ領域で働く看護管理者の研修 看護師職能Ⅱ部会交流会 R2.3.28(中止) ・ ㊦ 介護職員等の医療的知識習得(認定看護師出前講座)関係研修に係る企画・運営・評価 R1.10.25～R1.11.28の期間で5施設実施
ウ 職能委員会活動周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用(Vol.144,145) ②ホームページの活用 ③看護師職能Ⅱ領域の活動らし等の活用 ④看護師職能集会 R1.6.22 参加者：63人 テーマ「看護師がいきいきと働き続けるために」～看護師さん、ちょっと気楽にいきましょう！～ ⑤日本看護協会、山口県看護協会との協働 ⑥他団体の会議出席等による連携強化
(5)介護施設等で働く看護職等の資質向上推進事業(認定看護師派遣事業)	㊦ 介護職員等の医療的知識習得(認定看護師出前講座)関係研修
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 4回
ア 准看護師の支援	①准看護師のスキルアップを目的とした研修会・進学支援・交流会 第1回 山口・防府圏域 山口県看護研修会館 「医療安全・感染症について」 R1.10.19 参加者：19人 第2回 周南圏域 周南記念病院 「認知症看護」 R1.11.9 参加者：11人
イ 日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議 R1.9.9 台風のため中止
ウ 広報活動	①会報「きらめき」、ホームページでの活動報告(Vol.144) ②「看護師へのステップアップ」リーフレットの活用
(7)助産師出向支援導入事業(山口县委託事業)	①助産師出向支援導入事業協議会 2回 第1回 11.7 第2回 書面協議会 ②助産師出向に関する調査の実施 期間：5.17～6.18 対象：山口県内分娩取扱い施設33カ所 回答：25施設(回答率 75.8%) ③分娩施設看護部長・病棟師長を対象としたヒアリング 総合・地域周産期母子医療センター5病院を対象に実施 ④助産師出向支援導入事業に関するアンケート調査 対象：県内の分娩取扱い施設に勤務する助産師 332人 期間：R2.1.14～1.31 回答：124人(回答率 37.3%) ⑤「チャレンジ助産師応援リーフレット・クリアファイル」の作成と配布 ⑥助産師出向支援導入事業研修会の開催 テーマ：助産師の役割拡大とキャリアアップ支援 助産師出向システムの活用 参加者：16人

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
<p>1) 地域連携における看護の機能強化事業</p> <p>(1) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化 (山口県委託事業 訪問看護実践研修)</p> <p>(2) 在宅ケアの推進</p> <p>(3) 訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)</p> <p>(4) 日本看護協会及び関係団体との連携</p>	<p>訪問看護事業所、病院、施設の看護管理者、行政、地域包括支援センターの保健師等による検討会を設置。医療圏内の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携強化を図るうえでの、地域における課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得を目的とした研修を企画、実施した。</p> <p>① 岩国支部 検討会5回 研修会3回 ② 柳井支部 検討会2回 研修会3回 ③ 周南支部 検討会3回 研修会2回(研修会1回は中止) ④ 防府支部 検討会3回 研修会3回 ⑤ 長門支部 検討会2回 研修会4回 ⑥ 下関支部 検討会3回 研修会3回</p> <p>①在宅ケア推進委員会 6回 ②在宅療養を支える看護職の人材育成、離職防止 断 訪問看護新任者研修：24人 R2.1.22 1回目 R2.3.4 2回目(延期) ③訪問看護師の看護実践能力の向上 ・訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動 ・最新情報の提供および訪問看護研修ステップ1の公開講座 ④看護職間の相互理解、連携強化の取り組み ・訪問看護研修ステップ1の公開講座 4科目 R1.6.21 コミュニケーション技術 公開講座：6人 R1.9.5 服薬管理 公開講座：6人 R1.10.5 エンドオブライフケア 公開講座：19人 R1.10.25 呼吸管理 公開講座：21人</p> <p>①訪問看護師育成支援事業検討会(在宅ケア推進委員会) 3回 ②訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) R1.5.16～12.12 31日間 180時間 受講者：20人 修了者：19人 ③中堅者から管理者対象研修〔訪問看護師スキルアップ研修〕 5回 1回目 R1.8.8(訪問看護研修ステップ1との合同開催) 受講者：3人 2回目 R1.10.20 受講者：17人 3回目 R1.1.26 受講者：42人 4回目 R2.2.15 受講者：8人 5回目 R2.1.16 受講者：37人 ④訪問看護入門研修2日間 受講者：11人 1日目 R2.1.22講義・演習 2日目 訪問看護ステーションでの同行実習 ⑤断 訪問看護実践研修の開催医療圏の拡大 新たに柳井・周南・防府の3医療圏が加わり、6医療圏に拡大</p> <p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②訪問看護連絡協議会全国会議 2回</p>

事業項目	主な事業内容
<p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p>	<p>①経営目標に基づく安定した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：18件 ひかり：30件 あぶ：16件 ・在宅看取り ほうふ：5件 ひかり：2件 あぶ：3件 ・訪問看護等に関する電話・来所相談への対応 ほうふ：1件 ひかり：8件 あぶ：6件 ・利用者の受診介助 ほうふ：13件 ひかり：30件 あぶ：0件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 (R1.5.21・R1.11.19) <p>②質の高い訪問看護サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サミット2019 R1.12.6 出席者：1人 ・訪問看護集中セミナー R1.12.7 出席者：1人 ・その他の研修参加 ほうふ21回 ひかり16回 あぶ28回 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 <p>③訪問看護に関わる関連団体との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ30人 ひかり3人 あぶ12人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 <p>④広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布
<p>3)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)「新がん総合相談窓口」の設置</p>	<p>①各支部における「まちの保健室」の現状に関する調査を実施</p> <p>②普及啓発グッズの配布</p> <p>③行政、関係機関との連携推進</p> <p>④企業と連携 R2.2.6 山口銀行下松支店で実施</p> <p>⑤健康フェアへの出展</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日</p> <p>②看護職者による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援</p> <p>③相談窓口の積極的な利用の促進 がん相談 86件 がん以外の相談 27件 合計 113件</p>

事業項目	主な事業内容
<p>4)災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1)災害支援活動体制の整備、充実</p> <p>(2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p> <p>(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働</p> <p>(5)委員会</p> <p>5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業</p> <p>(1)看護の日・看護週間行事開催</p> <p>(2)看護のPR</p>	<p>①災害支援体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援要綱の作成、災害派遣手順の改正 ・災害支援ナース実践活動マニュアル周知、改正 ・冊子および電子冊子の作成、啓発 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備 <p>①災害支援ナース研修「基礎編」 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」 日本看護協会インターネット配信研修(オンデマンド)にて実施 R1.7.30～7.31(2日間) 受講者：63人</p> <p>②災害支援ナース研修「実務編」 R1.12.6～7(2日間) 受講者：38人</p> <p>③災害支援ナースフォローアップ研修 2回 R1.8.17 受講者：92人 R2.2.22 受講者：35人</p> <p>④災害支援ナースの新規登録：27人</p> <p>⑤災害支援ナースの登録更新要件に関する調査結果の検討、報告 調査結果を都道府県看護協会に通知 R2.3.7 山口県看護研究学会での発表(中止)</p> <p>⑥災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動</p> <p>①山口県総合防災訓練等への参加 R1.6.9 岩国消防防災センター 参加者：災害支援委員4人</p> <p>①都道府県看護協会災害看護担当者会議 R1.9.12 出席者：1人 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p> <p>①災害支援委員会 8回</p> <p>①11支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事を開催 3支部 参加者：773人 50施設 参加者：12,265人 ②ふれあい看護体験は学生等を対象として会員施設で開催 58施設 参加者：1,312人 ③「看護の心」普及活動 リーフレット配布</p> <p>①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 相談者(高校生)：94人 ②職場体験 ③進路相談</p>

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1) 日本看護協会との連携強化事業 (1) 諸会議等への出席	<p>※法人事業</p> <p>① 通常総会 R1.6.6</p> <p>② 理事会 R1.5.10、R1.6.6、R1.7.25・26、R1.9.27、R1.11.29、R2.2.20・21</p> <p>③ 法人会員会 R1.5.10、7.26、11.29、R2.2.21</p> <p>④ 学会委員会 R1.5.10、7.1、12.17、R2.1.21</p> <p>⑤ 地域における実効性のある看護職連携モデルの構築・普及検討会 R1.8.20、R2.1.31、2.14、2.20</p> <p>⑥ 代議員研修会 R1.5.18 出席者：12人</p> <p>⑦ 全国准看護師制度担当役員会議 R1.9.9 中止</p> <p>⑧ 都道府県看護協会政策責任者会議 R1.9.26 出席者：2人</p> <p>※公益事業</p> <p>⑨ 全国職能交流集会 R1.6.7</p> <p>⑩ 全国職能委員長会 R1.8.21 出席者：4人</p> <p>⑪ 都道府県看護協会看護労働担当者会議 R1.5.22 出席者：1人</p> <p>⑫ 都道府県看護協会教育担当者会議 R1.7.31 出席者：1人</p> <p>⑬ ナースセンター事業担当者会議 R1.5.23 出席者：1人</p> <p>⑭ ナースセンター相談員研修 R1.5.24 出席者：1人</p> <p>⑮ 都道府県看護協会災害看護担当者会議 R1.9.12 出席者：1人</p>
(2) 日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 研修会館の貸与事業 (1) 公益目的使用への施設の貸与	<p>① 本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸 2件</p> <p>② 会員及び支部に対し会議室等を無料貸出 14件</p>

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	<p>① 名誉会員制の継続</p> <p>② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰 山口県優良看護職員知事表彰等</p> <p>③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 9人表彰</p> <p>④ 傷病見舞5人、死亡弔慰金2人支給</p> <p>⑤ 会報「きらめき」を全会員へ配布</p>

事業項目	主な事業内容
	⑥レジャー施設入場支援 ・ハーモニーランド R1.8.1～8.31 144件 利用者数 614人(前年同時期比157.8%) R1.12.14～R2.1.13 144件 利用者数 579人(前年同時期比182.6%) ・やまぐちフラワーランド ⑦創立70周年記念誌「環」会員全員に配布

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容																
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>分類</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業関連の悩み</td> <td>4</td> <td>看護業務</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>進学・進路</td> <td>0</td> <td>職場環境</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>学習(研究)支援</td> <td>0</td> <td>その他</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	分類	件数	分類	件数	就業関連の悩み	4	看護業務	3	進学・進路	0	職場環境	10	学習(研究)支援	0	その他	9
分類	件数	分類	件数														
就業関連の悩み	4	看護業務	3														
進学・進路	0	職場環境	10														
学習(研究)支援	0	その他	9														
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営 ② 支部運営会議による協議 (※公益/収益等/法人) ③ 支部等への物品貸出(※法人) ・血管年齢測定器(支部以外) 4件 ・ストレス測定器 5件 ・物忘れ測定器 9件 ・骨ウェーブ 13件 ・肌年齢測定器 12件 ・体脂肪計 1件																
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産管理	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営																
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) R1.6.16 ② 理事会(※法人) 7回 内R2.3.13書面理事会 ③ 常務理事会(※法人) 5回 ④ 監査会(※法人) 2回 ⑤ その他事業(各種会議)(※法人) ・支部運営会議 2回 R2.3.13中止 ・推薦委員会(※法人) 2回 第3回は中止																
(3) 看護政策推進のための組織強化事業(日本看護協会委託) ア 地域の政策力強化(※法人)	① 認定看護管理者会への参加 3医療圏へ参加(山口・防府・宇部・小野田、下関) ② 看護学校訪問 入学式・戴帽式等 15校																

事業項目	主な事業内容
<p>イ 看護協会入会促進</p> <p>4) 広報活動事業</p> <p>(1) 広報活動</p> <p>(2) 各種情報提供</p> <p>5) 他団体との連携</p> <p>(1) 看護教育機関との連携</p> <p>(2) 看護関連政策の推進</p> <p>(3) 医療関係団体との連携</p>	<p>③看護管理者会議 第1回 R1.7.27 参加者：63人 第2回 R2.1.25 参加者：54人</p> <p>④新人看護職員交流会開催 R1.5.22 参加者：126人</p> <p>①山口県看護協会パンフレット作成 ②入会促進用チラシの配布 ・山口・防府・周南・柳井・岩国医療圏の病院・訪問看護ステーション・福祉介護施設・診療所等約500施設 ・協会入会率50%以下の47施設へ入会案内送付 ③山口県看護協会広報用ティッシュ作成配布。 ④会報「きらめき」・ホームページの活用</p> <p>①会報「きらめき」発行(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載</p> <p>①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」の配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会入会のご案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会事業案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・通送便 1回/月 ・印刷物等(医療関係団体のチラシ等)配布</p> <p>①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)</p> <p>①要望・提言・情報の提供(※法人) ・令和2年度施策・予算措置についての要望書を提出 ・令和2年度地域医療介護総合確保基金(医療分・介護分)の事業提案 ・山口県看護連盟との連携 合同研修会中止</p> <p>①医療関係団体新年互礼会(※法人) ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページへの掲載</p>

令和元年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修名(テーマ)	開催日(定員)	受講者数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
専門職業人として社会人基礎力を身に付け、 素敵な看護師になろう！	5/23(木)	143	99	44

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
がんばれ！看護研究 「研究計画書を作成するポイント」	5/11(土)	147	141	6
がんばれ！看護研究「質的研究とは」	7/6(土)	85	76	9
がんばれ！看護研究「量的研究と統計手法」	8/28(水) 8/29(木)	52	52	0
がんばれ！看護研究 「研究計画書を作成するポイント」	令和2年 3/21(土)	中止	0	0

【看護管理】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
人を伸ばすほめ方・叱り方	9/28(土)	180	179	1
レジリエンス・リーダー研修 ～折れない心＝レジリエンスを習慣にしよう～	令和2年 1/29(水)	64	64	0
ちょっと変わった人とのかかわり方 ～理解と対応～	令和2年 1/25(土)	184	181	3
看護師が定着する施設へ 生まれ変わるための人を育てる秘訣	11/9(土)	53	53	0

【自己教育】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
よくわかる！レポート・報告書の書き方	6/8(土)	112	111	1
会議の運営がうまくいくファシリテーションスキル	11/21(木) 11/22(金)	32	32	0
おもてなしの心を大切に ～患者に寄り添う接遇とコミュニケーション～	5/30(木)	104	100	4

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
事例から学ぶ基本的なアセスメント	10/25(金)	69	67	2
ハート先生の「ナースのための心電図講座」	令和2年 2/13(木)	180	170	10
ハート先生の心不全講座 ～高齢者を中心にした心不全看護の要点～	令和2年 2/14(金)	199	196	3
看護に役立つデータの読み方、考え方	10/11(金)	177	173	4
フィジカル所見と画像検査 ～アセスメントに役立つ画像診断～	10/12(土)	160	157	3

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
事例から学ぶ高齢者のフィジカルアセスメント	令和2年 1/17(金)	114	109	5
指導者として学ぶフィジカルアセスメント	令和2年 3/13(金) 3/14(土)	中止	0	0
これだけは知っておいてほしい感染症と感染対策	6/20(木)	116	101	15
笑って学べる！ 医療現場の感染対策の落とし穴と感染対策最新情報	11/6(水)	150	141	9
医療・看護過誤と訴訟 ～看護記録はどうあるべきか～	11/15(金)	125	122	3
急性期から取り組む脳卒中リハビリテーション	11/27(水)	48	48	0
がん化学療法を受ける患者・家族の看護	12/14(土)	94	91	3
看護師だからこそできるフットケア	8/21(水)	80	75	5
認知症・せん妄の鑑別と看護	10/5(土)	164	159	5
新生児蘇生法アルゴリズムの理解から実践へ	12/21(土)	18	18	0
見過ごしてはいけない急変の兆候！ ～異常をすぐにキャッチするために～	8/23(金)	178	171	7
現場に活かせる褥瘡/創傷ケア	9/6(金)	209	195	14
摂食、嚥下、口腔ケアの進め方 ～急性期からトータルに支える～	7/20(土)	130	122	8
認知症を持つ人の理解と関わり方 ～パーソン・センター・ド・ケアを学ぼう～	10/31(木)	128	125	3
環境からケアを！ ～触れてみよう！ホスピタルアート～	12/4(水)	73	73	0

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
医療安全のためのコミュニケーション ～ヒューマンエラーを防ぎチーム力を高めよう～	6/26(水)	155	147	8
今求められるクレーム対応 ～適切な初期対応でクレームに強い組織になろう～	7/1(月)	111	109	2
地域医療構想から地域包括ケアシステムを考える ～病院から地域へ切れ目のない連携と支援～	10/17(木)	92	91	1
多職種連携の知識とスキル ～これからの地域包括ケア～	9/20(金)	86	83	3
知っておくと便利な社会資源	7/24(水)	219	215	4
今考えるべき災害マネジメント ～山口県の特徴を知り災害に備える～	10/2(水)	106	104	2

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
身体抑制ゼロを目指した看護へのチャレンジ ～患者の尊厳を守るために医療者が学ぶこと～	9/22(日)	237	228	9
小児看護の倫理 ～子どもと家族の意思決定を支える～	令和2年 2/21(金)	30	30	0

アンケート枠

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
よくわかる！透析ケア	令和2年 2/6(木)	83	81	2

令和元年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 早瀬敏子

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 2) 行政及び在宅と施設、病院との看護職が連携するための仕組みづくり
評価と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入院と在宅をつなげる『情報提供シート』の実践報告で、「情報共有しやすくなった。活用してみたい。ADLが分り易い。」等の意見が聞けた。薬剤師、リハビリなど他職種の意見や、活用後の意見を基にスムーズに連携できるシートに改訂していく。 ・『情報提供シート』の共有が非公開型医療介護連携ネットワークシステム(いつつばし連絡帳)のできるように、実践研修会で医師・訪問看護師により、医師・病院看護管理者・病院や在宅の看護職・他職種に対して、いつつばし連絡帳の安全性や利点・事例紹介を行い利用者の増加を図っている。 ・岩国市地域包括ケア推進協議会で、『情報提供シート』の目的・運用を説明した。医療・介護に係る連携強化研修会で、ケアマネ・訪問看護師・保健師・介護支援専門員など多くの看護・介護職と連携強化に向けた意見交換ができた。次年度も行政と連携しながら会議・研修会を開催し、看護職間の連携強化を図っていく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 日時：R1.7.6 参加者：65人 研修名：「看護職を守るためのクレーム・暴力への対応」 講師：杉村法律事務所 杉村憲昭氏 (2) 職能研修(岩国市医師会コ・メディカル研修会) 日時：R1.11.21 参加者：121人 研修名：「確認しよう！急変前兆候と蘇生時の対応」 講師：救急看護認定看護師 十時良子氏 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 日時：R2.2.8 参加者：50人(3支部合計211人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2) 看護職の人材確保・就業支援 (1) 看護の日記念イベント時に看護の魅力をアピールする。 (2) 各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び看護週間行事、「国際助産師の日」の開催 R1.4.21 まちの保健室で実施。各施設で実施 2) 「いいお産の日」啓発事業 R1.10.20 岩国まつりで実施 3) まちの保健室 6回 参加者：961人 4) 進路相談 まちの保健室開催時に実施 5) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(県委託事業) (1) 検討会 5回 (2) 研修会 3回 ① R1.6.21 「地域包括ケアシステムを構築する医療介護連携の強化について」 参加者：55人 ② R1.9.18 「地域包括ケアシステムを構築する医療介護連携の強化についてPart2」 参加者：39人 ③ R2.2.20 「使っています！MCS いつつばし連絡帳やってみました！患者情報シート施設間連携」 参加者：69人 6) 地域包括ケア・認知症予防の啓発事業 R1.11.24 「岩国市地域包括ケア推進大会」 参加者：243人

4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 県協会に協力 2)看護職交流会 R1.12.14「スリッパ卓球」 参加者：11人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 11回 (2)看護学校入学式・卒業式祝電 2)支部集会 R1.7.6 出席者：64人 委任状：296人 計：360人 3)支部役員会 5回 4)支部委員会 (1)職能委員会 5回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)県協会ホームページへの投稿

柳井支部事業報告

支部長 守田教子

活動目標	地域における看護職の連携強化 1)看護職能の質の向上に努める 2)「まちの保健室」の活動を通して地域住民の健康福祉に寄与する。 3)支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。
評価と今後の課題	3支部合同マネジメント研究会は、看護職能の質の向上に繋がるものであり、今後も他の施設の取り組みや活動などを報告できる場としていきたい。 今年度より在宅療養支援に係る看護職の連携強化として、検討会・研修会を開催した。地域の課題や住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための看護職の役割を見つけ出すことができた。今後は、在宅での看護実践能力の向上のために訪問看護の実際を知る研修会を開催する。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①R1.7.6 柳井支部特別講演 演題：糖尿病患者の療養支援 講師：周東総合病院 糖尿病看護認定看護師 高丘瑞穂氏 参加者：86人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究発表会 ①R2.2.8 第2回3支部合同看護マネジメント研究会 演題：10題 参加者：柳井51人(3支部で211人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場作り事業 ①県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で実施 2)健康相談・啓発などの事業 (1)まちの保健室 7回開催 参加者：220人 (2)国際助産師の日事業 (3)進路相談 ①まちの保健室実施 ②各施設で実施 3)断在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 (1)訪問看護実践研修検討会 3回開催 (2)訪問看護実践研修会 3回開催 R1.10.9 参加者：21人 R1.12.18 参加者：37人 R2.2.19 参加者：10人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生などに関する事業 (1)表彰候補者の推薦 (2)その他の事業

5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部組織の強化に関する事業 (1) 支部活動の充実 ① 地域会議へ出席 ② 看護学校4校 入学式、卒業式 祝電 2) 組織運営に関する事業 (1) 支部集会 R1.7.6参加者：86人 委任状：434人 合計：520人 (2) 支部役員会 4回 (3) 支部委員会 職能委員会、教育委員会、推薦委員会、選挙管理委員会 各4回 3) 広報活動事業 (1) 広報活動 県協会報「きらめき」への投稿
---------------------------------------	--

周南支部事業報告

支部長 永富喜代子

活動目標	1) 会員の看護の質の向上を図る 2) 会員相互の親睦を図り、連携を深める
評価と今後の課題	2つの目標を達成するために、研修会4回、交流会1回は開催できた。役員・委員の連携はできている。今後は、会員相互の親睦と連携は、まちの保健室や研修会を通して役員・委員が中心となり会員に働きかけていく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 R1.8.24 参加者：74人 講師：徳山中央病院 認知症看護認定看護師 重岡和江氏 テーマ：「認知症ケア加算を開始して～看護師が求められること～」 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会(周南支部担当) 発表演題：10題 参加者：211人(周南支部110人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり ① 県協会労働環境支援委員会の研修会に参加 R1.8.10
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 9施設で5月開催 参加者1,174人 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 7回 参加者：507人 (2) 国際助産師の日事業 1回 参加者：50人 (3) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 ① 検討会2回 ② 研修会2回 R1.11.9 参加者：86人 R1.12.5 参加者：10人 (4) その他：① 地域行事での救護依頼に協力 ② 「リレーフォーライフジャパン2019やまぐち」 R1.10.5、6 参加者24人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 表彰候補の推薦 ① 県協会へ協力 (2) その他事業 ① 看護管理者交流会 R1.7.6 参加者：20人 テーマ「新米管理者集まれ！施設を超えてお付き合いの始まり」
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部集会 R1.7.6 出席者85人 委任状1,435人 2) 支部役員会 5回 3) 支部委員会 (1) 職能委員会 5回 (2) 教育委員会 5回 (3) 推薦委員会 1回 (4) 選挙管理委員会 1回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」に周南支部活動報告投稿

防府支部事業

支部長 石田美江

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護力の向上 2)多様な場で働く看護職間の連携強化
評価と今後の課題	令和2年3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった研修会があるが、概ね計画通り進んだ。 在宅療養支援に関する研修会では、顔の見える関係づくりの重要性や互いの職場、役割の理解の必要性を認識することができた。訪問看護師と病院、施設看護師の互いの職場や役割を理解し連携を強化していく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)支部看護研究研修会 (1)R1.6.8 (2)R1.9.21 (3)R1.12.12 (4)R2.3.13は中止 研修名：支部看護研究研修会 講師：中谷信江氏(山口県立大学) 受講者：4施設5グループ 計22人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①R1.4.28イオン店内で看護の日PR及び健康相談 参加者：51人 ②各施設で実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 ①常設まちの保健室・イベント型まちの保健室 11回開催 参加者：821人 (愛情防府フリーマーケット、市民文化祭でのイベント型開催を含む) (2)国際助産師の日事業 ①国際助産師の日イベント ・R1.10.19身体計測、妊産婦の悩み相談、育児相談、助産師の仕事写真展など 参加者：164人 (3)進路相談・看護職の就労支援 ①各施設及びまちの保健室で実施 (4)保健師職能交流会 ①研修会(中止) (5)その他の事業 ①地域行事での救護協力 3)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 ①検討会 3回 ②研修会 3回 ・R1.8.9 在宅療養のための看看連携について課題抽出 参加者：11人 ・R1.11.5 テーマ「在宅療養支援に係る看護職の連携を強めよう！」 ～その人らしい療養生活を送るために私たちができること～ 講演：介護保険について 講師：秋重邦子氏(防府市高齢福祉課) 講演：看護職連携について 講師：原田典子氏(原田訪問看護センター) ・R1.11.6 R1.11.5と同様の内容で開催 合計参加者：97人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員の福利厚生等に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 (2)その他事業 ①R1.7.6 親睦会 1回 参加者：35人

5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)地域会議への出席4回 2)支部集会 R1.7.6 出席者：62人 委任状：527人 計：589人 3)支部役員会 7回 4)支部委員会 (1)職能委員会 5回 (2)教育委員会 3回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿
---------------------------------------	--

山口支部事業報告

副支部長 井原京子

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の強化を図る
評価と今後の課題	地域包括ケアシステムを推進するためには、まず同じ地域で活動する看護職同士の連携が必要だが、支部役員会や講演会の開催により「顔の見える関係づくり」が進みつつある。また、住民の身近な健康相談の場である「まちの保健室」は、地域に密着した地道な取り組みであり、看護力の強化につながっている。 今後「特定健診・がん検診 受診率UP！キャンペーン」を行い、受診率の向上に取り組んでいく。また、今後山口支部共通の新たな看護情報提供書の作成に取り組んでいく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①R1.11.2 山口支部看護研修会 「私もできる！看護研究のポイント」 講師：家入裕子氏 参加者：85人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事の開催 (1)各施設で実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 8回開催 参加者：483人 (2)国際助産師の日事業 R1.11.3 参加者：64人 (3)進路相談 各施設で実施 (4)その他の事業 ①R1.12.14 地域連携推進研修会 「看護情報提供書の活用状況と他職種連携の現状を知る」 他職種とのグループディスカッションによる現状把握と問題抽出 参加者：68人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 県協会への協力 (2)その他の事業 ①R1.7.6 支部講演会 「医療現場で活用できるコミュニケーションスキル ～相手を安心させる言葉の伝え方、気持ちの聴き方～」 講師：有限会社 ケイ・アンド・ワイ 温品富美子氏 参加者：129人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 6回 ②看護学校3校 入学式、戴帽式、卒業式 祝電

	<p>2)組織運営に関する事業 (1)支部集会 R1.7.6 出席者：129人 委任状：1,078人 計：1,207人 (2)支部役員会 5回開催 (3)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 6回 ③地域連携推進委員会 6回 ④推薦委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 1回(中止) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は中止した。</p> <p>3)広報活動事業 (1)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿</p>
--	---

宇部支部事業報告

支部長 紙 直子

活動目標	地域ケアサービスの内容を検討し、充実させる
評価と今後の課題	まちの保健室の実施内容を検討するために、8月より支部役員が毎回参加する事とした。また、今まで参加していない2病院に依頼し、新たに参加することになった。11月よりまちの保健室で「特定健康診査・がん検診受診率UP」の活動も行った。今年度はショッピングセンターの会場が人目につきにくい場所のために、参加人数が大幅に減少となった。開催回数と時間を検討し、変更することにしたが、令和2年3月より活動中止となり評価できていない。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)支部教育研修会 (1)R1.6.22「大人の発達障害」 講師：岡村隆弘氏(山口県発達障害支援まっぷセンター長) 参加者：51人 (2)R1.12.15「看護研究のテーマの絞込み～気付きから看護研究につなげるためには～」 講師：永田千鶴氏(山口大学) 受講者：32人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)県協会主催事業への協力 2)血管年齢測定器貸し出し 2回
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事は各施設で実施 2)まちの保健室：10回 参加者：607人 助産師活動 4回 R1.11.16 いいお産の日のイベント 参加者：31人 3)その他 R2.1.26 宇部市多職種連携研修会 参加者：3人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	職能合同研修会 R1.12.14「暮らしに役立つ整理収納に関する講話、ワーク」 講師 整理収納Alife 天野貴美栄氏 参加者：17人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部役員会 5回開催 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 3回 3)支部集会 R1.7.6 出席者：131人 委任状：1,705人 計：1,836人 4)その他 (1)看護学校入学式・戴帽式(祝辞)出席、卒業式祝電 (2)地域会議への出席(支部長) ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回 ②宇部・小野田地域保健医療対策会議 2回 ③宇部市防災会議 1回 (3)宇部市公務災害補償等認定委員会1名推薦 (4)県協会70周年記念誌の投稿 (5)県協会報「きらめき」への投稿

小野田支部事業報告

支部長 大林幸恵

活動目標	<p>1) 地域包括ケアシステム推進の一助となるよう、地域に密着した事業を展開する</p> <p>2) 支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る</p> <p>3) 活動を通して地域の人々の健康を支援する</p>
評価と今後の課題	<p>支部看護職への教育研修として実践スタイルの研修を行った。支部の看護師だけでなく地域の看護師や介護職にもアナウンスした。病院看護師だけでなく訪問看護師・介護職も参加し応募人数より少ない参加ではあったが参加者からはとても評価が高かった。今後も継続したいが集客につながる策が必要。</p> <p>地域会議に参加し、地域の状況に合わせた事業の展開を試みた。まだまだ地域に対して看護師の仕事・役割について周知する努力が必要だと感じた。</p> <p>今年度末に新型コロナウイルス感染の拡大により、会議の開催が阻まれ計画がとん挫してしまった。ITを活用した会議の在り方も検討していく機会であると感じた。</p>
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	<p>1) 支部研修会 2回：認定看護師を活用した実践スタイルの研修</p> <p>(1) 摂食嚥下：R1.11.9 R1.8.31は大雨の影響で中止、R1.11.9に延期となった。</p> <p>(2) WOC：R2.1.25</p> <p>2) 出張研修：認知症とせん妄 R1.10.5</p>
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1) 県協会主催事業への協力</p> <p>2) 働き続けられる職場づくり支援</p> <p>3) 就業促進：看護師の仕事や看護職となるための方法について説明を行う まちの保健室の中で進学相談も行っていましたが実際相談されることはなかった。今後は意図的で戦略的な行動が必要である。</p>
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1) 「看護の日」行事開催：6施設で実施</p> <p>2) 「いいお産の日」行事をR1.11.17 山陽小野田市主催 SOS健康フェスタ内で実施したが「まちの保健室」事業メインになった。</p> <p>3) 「まちの保健室」6回</p> <p>4) 看護体験実施：各施設で実施</p> <p>5) 在宅ケア市民公開講座：地域住民への健康教育については未実施</p>
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	<p>1) 表彰候補者の推薦：県協会への協力</p> <p>2) 支部交流会 2回：1回のみ支部集会の後に実施</p>
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	<p>1) 支部役員会 5回：3回実施</p> <p>2) 支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回</p> <p>3) 支部活動の充実</p> <p>(1) 地域会議へ出席</p> <p>① 宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回</p> <p>② 山陽小野田市健康づくり協議会</p> <p>③ 山陽小野田市在宅医療・介護連携推進協議会</p> <p>④ 山陽小野田市在宅医療・介護連携協議会広報委員会</p> <p>⑤ 山陽小野田市在宅医療・介護連携協議会作業部会</p> <p>(2) 看護学校式典出席</p> <p>※3月予定の会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止、地域会議も中止、卒業式も参列中止となった。</p>

長門支部事業報告

支部長 花島まり

活動目標	長門地域の看護職員の連携の強化、看護の質の向上
評価と今後の課題	長門市の病院・訪問看護ステーション・施設・行政に勤務する看護管理者会議を行い、各施設の看護の課題を共有することができた。支部事業は3月に予定していた研修が中止となった。来年度も活動の周知を行い、地域の看護の質の向上、協会員の増員に向けて取り組む。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修:「看護記録」 山口大学 伊東美佐江教授 R2.3.6(中止) (2)WEB研修:4回 参加者:90人 (3)職能研修会:災害時の備え 防災コーディネーター 前田洋一氏 R2.3.26(中止) 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導:2回 9グループ (2)看護研究発表会R2.2.21 参加者:81人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会研修会に参加 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 R1.7.26 参加者:27人
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業:R1.5.12 参加者:2施設185人 2)まちの保健室:4回開催 参加者:168人 3)国際助産師の日事業:「助産師まつり」 R1.10.5 参加者:273人 4)進路相談:R1.8.6 一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 検討会①参加者:9人、検討会②参加者:6人 看護代表者会議:27人、研修会①:20人 研修会②:16人 研修会③:16人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦:山口県優良看護職員表彰:1人 2)地域の看護職員交流会:R1.9.4、5(2日間) 参加者:83人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部役員会 2回 2)支部委員会 (1)職能委員会 1回 (2)教育委員会 2回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」の投稿 (2)支部広報誌「ふれあい」の作成:3月発行

萩支部事業報告

支部長 河野真理子

活動目標	地域包括ケアにおける連携と看護力の強化を図り、萩医療圏の課題を抽出・課題解決のための手段について検討する
評価と今後の課題	地域医療構想協議会・地域包括ケアネットワーク協議会にて地域の情報を共有地域において顔の見える関係作りに努めた(情報誌の作成協力) 地域の課題解決に向けた研修会を開催した(防災対策・訪問看護の現状など) 次年度に向けて地域の看看連携の強化を図り、課題解決に取り組むことが課題
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部研修会 1回(R1.11.29) 訪問看護の支援とは 訪問看護認定看護師 末永広美氏 出席者:52人 (2)三職能合同研修会 1回(R1.10) 災害から生きのびるために 日本防災士会 工藤美佐氏 出席者:45人

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程調整し実施 2)まちの保健室開催 (1)10回 参加者：161人 ふるさと祭り：1,222人 計1,383人 3)国際助産師の日事業 (1)まちの保健室と同時開催 4)進路相談 (1)各施設で実施 (2)まちの保健室での実施 (3)中学生への職業講話 依頼があったが、中止 5)その他の事業 (1)地域行事での救護協力(萩夏まつり・中体連野球・陸上救護協力)
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 今年度はなし 2)その他の事業 (1)交流・親睦会2回予定(1回目R1.10.19開催 2回目は中止)
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 (2)県立萩看護学校・萩准看護学校入学・戴帽式出席 2)支部集会 (1)R1.7.6出席者：67人 委任状300人 計367人 3)支部役員会 7回

豊浦支部事業報告

支部長 丸山千恵乃

活動目標	1)在宅療養支援に関わる看護職の連携強化(地域に必要な人材の育成、研修の立案) 2)会員数の増加
評価と今後の課題	在宅療養支援に関わる看護職の役割について情報共有と役割について学び、地域とのつながりを持つことができた。今後、さらに看護の質向上を図るための仕組みづくりが課題である。 下関支部と豊浦支部の統合へむけた取り組みが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)R1.9.14 研修名：「地域包括ケアシステムの取り組み～この地域での現状と課題～」 講師：下関市医師会 医療・介護連携推進室 室長 吉村直美氏 受講者：39人 2)R2.2.22 研修名：「災害時における看護職の役割 ～今、行うべきことは～」 講師：済生会山口総合病院 救急看護認定看護師 桂真佐美氏 受講者：25人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 ・県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 R1.5 各施設で実施 2)まちの保健室 7回 参加者：267人 3)国際助産師の日事業 「看護の日・国際助産師の日事業」開催 R1.5.11 元気ファミリーフェスタ 豊北総合グラウンド 参加者：180人 4)進路相談：各施設で職場体験実施

4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 交流会 R1.12.14 「エッセンシャルオイルの利用方法 ～リラックス法、ストレスを溜めないアロマ活用方法～」 講師：関門医療センター 医師 松本裕美氏 参加者：32人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 下関医療対策協議会出席 2回 2)支部集会 R1.7.6 出席者：42人 委任状：180人 計：222人 3)支部役員会 5回 4)支部委員会 職能委員会 教育委員会は支部役員会内で実施 5)広報活動事業 (1)県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業報告

支部長 古本たつ子

活動目標	地域包括ケアに求められる看護職の育成と連携の仕組みを作る。 1)地域の教育ネットワークを作る。 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う。
評価と今後の課題	1)「下関支部認定看護師リスト」を作成し、活用してもらうため各施設へ配布した。 2)実践的なコミュニケーションスキル・感染管理の研修を実施した。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) (1)テーマ「おもてなしの心を大切に ～患者様に寄り添う接遇～」 日時 R1.9.10 受講者：83人 講師 中野由美氏 (2)テーマ「この冬を安心して乗り切るための感染対策」 日時 R1.12.3 受講者：69人 講師 下西英幸氏
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に看護の魅力発見コーナーを設置しアピールする。 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を開催する。 (2)「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業を合同開催 日時 R1.5.11 参加者：685人(委員・役員 36人) 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 8回 参加者：429人(委員・役員 85人) (2)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化(県委託事業2年目) ・検討会の開催：3回 (R1.5.21 10人、R1.10.21 7人、R2.1.7 9人) ・研修会の開催：3回 (合計 164人) 1回目R1.7.30 「看看連携シートの活用について」 参加者：10人 2回目R1.11.22 「訪問看護の現状、事例から」 参加者：84人 3回目R2.2.20 「事例を用いた模擬退院支援カンファレンス」 参加者：70人 (3)地域行事への看護師派遣4団体63人派遣(救護他)
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)職能研修・会員交流会 テーマ「職場で使える7秒コーチング」 講師 山之上雄一氏 日時 R2.2.8 参加者：40人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)支部集会 日時 R1.7.12 出席者：137人 委任状：1,168人 計1,305人 (2)役員会 5回 (3)支部委員会 ①教育委員会 3回 ②まちの保健室委員会 1回 ③推薦委員会 4回 ④職能委員会 5回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 5団体 医療対策協議会他 15回出席

令和元年度 職能委員会活動報告

I 保健師職能委員会

委員長 片瀬智恵

1 活動目標	<p>1)保健師の連携強化及びネットワークの推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進</p>
2 委員会開催	<p>委員会 8回 (R2.3.15に予定していた第9回委員会は中止) 支部保健師職能委員との合同会議 1回 (R2.3.15に予定していた第2回合同会議は中止)</p>
3 活動内容	<p>1)保健師の連携強化及びネットワークの推進 (1)保健師職能集会の開催 R1.6.22 出席者：42人 (2)保健師交流会の計画(中止) R2.3.15 テーマ：「対応に行き詰る事例への支援の進め方とつなぎ方」 講師：カウンセリング・オフィスHORIE 堀江秀紀氏 (3)保健師カフェの開催(1回) 第1回 職能集会 R1.6.22 テーマ：「『公衆衛生と保健師活動』『保健師間の連携』」 (第2回は、R2.3.15に予定していたが中止) (4)職能委員会の開催 (5)山口県看護協会会報やホームページによる情報発信 会報「きらめき」「ひたむきな保健師」企画・運営 3回 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 (1)保健師交流会の計画(再掲) (2)行政保健師活動に関するアンケート(県内19市町と県)調査実施 (3)令和2年度教育研修計画への参画 3)会員増加の推進 (1)保健師職能集会、保健師職能集会への非会員の参加呼びかけ (2)リーフレット、パンフレットの活用 (3)山口県看護協会会報やホームページによる情報発信</p>
4 今後の課題等	<p>1)令和元年度に実施した「行政保健師活動に関するアンケート」によると、保健師の分散配置と業務の多様化、地域包括ケアシステムの中核的な役割としての重責などにより保健師同士の交流や情報交換が重要になっていることがわかった。また、統括保健師の配置、保健師の人材育成と人材確保などに苦慮している現状がわかり保健師職能集会や交流会を活用した検討の場が必要である。 2)職能集会や交流会の場を有効に活用し、魅力ある活動を企画・運営するとともに、公益社団法人として、各支部や行政、産業分野、病院等、活動領域の異なる保健師との連携をより強化していく必要がある。 3)会員数増加の促進のために、県内の関連団体(保健師長会、保健所保健師研究協議会、市町保健師研究協議会、産業看護研究会、事業所保健師研究会等)との連携を強化する。</p>

【行政保健師活動に関する情報収集（調査）結果】

1 調査概要

(1) 調査の目的

県内の行政保健師活動の現状と意見を集約し課題発見につなげ、山口県看護協会職能委員会として今後の活動のあり方を考える資料とする。

(2) 調査方法

対象	山口県健康増進課および山口県内19市町衛生主管課長
期間	令和元年10月中旬～11月
調査方法	自記式質問紙調査（郵送法）
回答率	100%

(3) 結果の概要

① 統括保健師の配置状況及び課題等

統括保健師配置市町等：11か所

（内複数設置市町等：2か所）

統括保健師等人数：15人

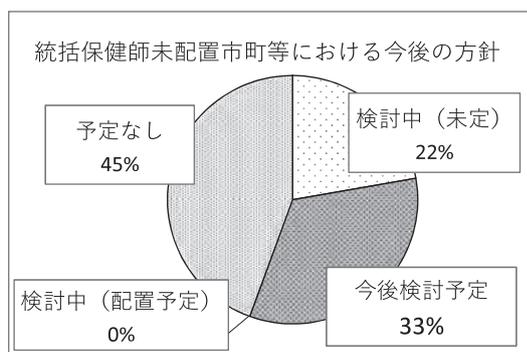
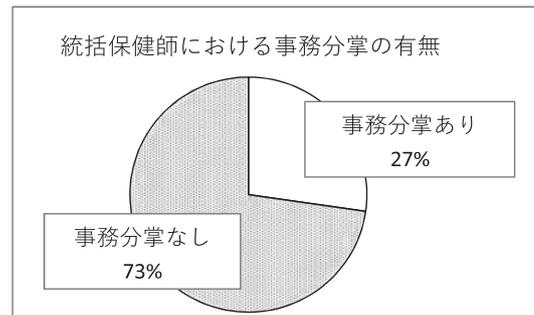
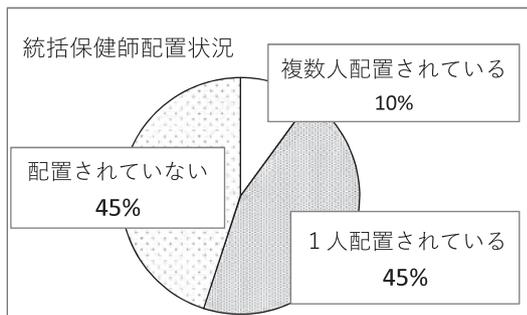
保健師数：578人

（常勤保健師：501人、非常勤保健師77人）

統括保健師配置に係る事務分掌の有無：3か所

＜事務分掌の内容＞

- ・保健活動の組織的横断的な総合調整及び推進
- ・技術的及び専門的側面からの指導及び推進
- ・人材育成の推進
- ・保健師の総括に関すること



統括保健師の配置や活動の課題

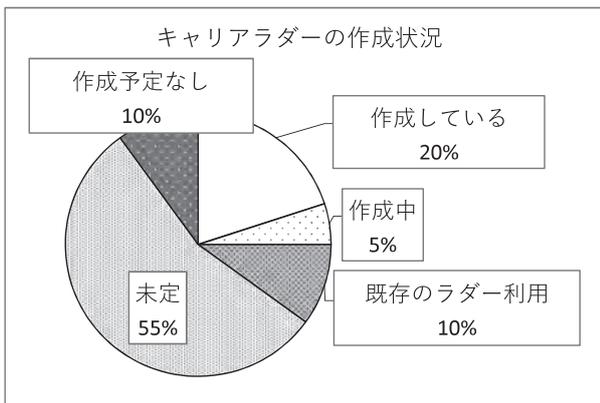
【統括保健師配置市町の課題】

- ・統括保健師の実施体制として調整会議を設けているが、活動内容や実施方法等について日常的に相談できる体制が必要。
- ・市内での位置づけの明確化
- ・市内の理解、組織的な活動（事務分掌への明記）
- ・保健師現任教育の体系化
- ・保健師の配置部署が部をまたぐため、所属長だけでなく部長の承諾が必要な場合もある。部、課の業務や方針が優先するため、意思統一が思うようにできないことがある。
- ・次世代統括保健師の育成

【統括保健師未配置市町の課題】

- ・分散配置されている保健師の所属長が事務職であり、統括保健師の必要性についての意識が低く、また協議もできていない。人事部局との協議もできていない。
- ・統括保健師の人材育成の体制ができていない。
- ・災害時の保健師活動の調整のために統括保健師の必要性を強く感じる。

②キャリアラダーの作成に関する現状及び課題等

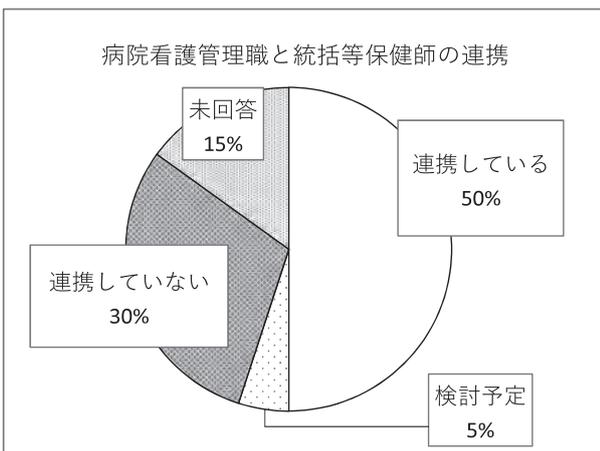


キャリアラダー作成市町等：4か所
 キャリアラダーの活用方法（複数回答）
 人材育成 … 4か所
 自己評価 … 2か所
 人事面談 … なし
 研修企画 … 2か所

＜キャリアラダー未作成の理由＞

- ・保健部局の保健師は厚労省の「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」を試行的に利用している。
- ・山口県が作成されたものを活用している。庁内で年3回研修、情報交換、情報共有を行っている。

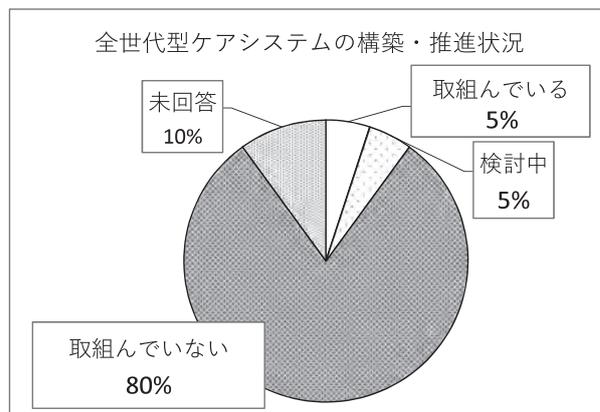
③地域包括ケアシステムの構築・推進における現状及び課題等



④全世代型ケアシステムの構築・推進

全世代型ケアシステムの構築・推進状況

取り組んでいる：1か所
 検討中：1か所
 取り組んでいない：16か所
 未回答：2か所



⑤保健師が抱えている課題

保健師が抱えている課題

人員の確保とスキルアップ、人材育成

- ・人員不足の上に、育休代替の確保ができていないので、個別対応や行事を行うことに追われ、研修をしたり、健康課題や対策について協議したりする時間がとれない。マンパワー不足。
- ・多職種と関わりながら業務をする中で保健師の専門性を感じ、スキルアップ、キャリアラダー等必要性を感じる。
- ・県、市町によっては保健師の年齢構成は現在中堅層が少なく将来的に管理期が少なくなることから、中堅期の人材育成がカギとなる。

分散配置

- ・保健師の分散配置の中、保健師間、課をまたいだ連携が難しい。
- ・分散配置が進んでいるため保健師間において互いの業務内容が見えづらく、特に中堅～若手職員にはその傾向があり、他課との連携がとれにくい。
- ・部署横断的な保健活動の連携が業務に追われ、とりにくい。
- ・分散配置により、職場での育ち合いが難しい。

統括保健師

- ・子どもから高齢者保健の各計画、総合計画の随所に保健師業務に関する内容が盛りこまれ、個々にふりまわされている。
- ・全世代にかかわる機会に恵まれていながら、システム構築までもっていけないのは、統括保健師の役割、俯瞰する視点がないからかと、このアンケートに回答しながら考えた。

人材育成

- ・分散配置の中での人材育成（中堅が複数部署に配置されているため、健康部門での新任期の育成ができにくい。）
- ・行政職及び専門職としてのスキルアップ（分散配置により、各部署での行政職としての能力も求められており、専門的にスキルアップとともに取り組む必要がある）
- ・保健師の年齢構成の偏りがあり、ジョブローテーションとして、保健部門、高齢者部門、障害者部門間での異動がむずかしい。

業務の多様化と業務量の増大

- ・市町の中でも保健師は災害対応、相談業務、救護等各課の業務以外の仕事も多くなってきている。行政職であり、組織の一員として連携、協働することも重要である。
- ・各自が抱える業務が多く、体制を見直す余力もない状況で全体のモチベーションも下がりがち。事業のスクラップ&ビルドが必要

2 今後の取り組み

- (1)令和2年度保健師職能集会で報告
- (2)令和2年度保健師職能委員会として、抽出された課題について協議し、令和2年度以降の集会や交流会において研修などの取り組みに反映させる。

行政保健師活動に関する情報収集（調査）回答票

令和元年 月 日記入

【回答者について】

県担当課または市町名	
所属課名	
回答者氏名	
電話番号	
E-mail	

【本情報収集の目的】

- ・この情報収集は、県および県内各市町の活動等について、皆様の意見を集約し課題発見につなげ、保健師活動推進の貴重な資料となるものです。
- ・情報収集結果は、令和2年度保健師職能集会で報告し、情報交換・共有するための資料といたします。ただし、公表に当たっては、数量的に処理し、市町名が特定されるような形での公表は行いません。

【回答方法】

- ・平成31年4月1日現在の状況でご回答ください。
- ・ご回答の際は、該当番号に○、または記入をお願いします。
- ・回答締切：令和元年○月○日(○)
- ・回答方法：同封の封筒にて返信してください。

【貴自治体の保健師数】

常勤保健師数	名	非常勤常勤保健師数 (実人数)	名
--------	---	--------------------	---

1 貴自治体における「統括的な役割を担う保健師」の配置状況についてお伺いします。

(1) 「統括的な役割を担う保健師（名称はこれに限りません）」は、配置されていますか。

- ① 配置されている（事務分掌への明記の有無は問いません）⇒(2)にお進みください
- ② 配置されていない ⇒ (3)にお進みください

(2) 配置されている自治体にお伺いします。

- ① 配置されている統括保健師の人数 () 人
- ② 統括保健師の配置部署や人数、事務分掌への明記に関してご記入ください。

また、統括保健師を2名以上配置している場合は、取りまとめ役を担っている保健師に☆印をつけてください。

統括保健師の配置		2名以上の配置 の場合の取りま とめ役に☆	事務分掌への明記の 有無 有：○ 無：×	事務分掌の内容
部署名 (部・課・係)	人数			
(記入例)健康増進課	1	☆	○	保健師のとりまとめに関すること
(記入例)高齢福祉課	1		×	

(3) 配置されていない自治体にお伺いします。
今後の統括保健師の配置について検討されていますか。

- ① 検討しており、今後は配置予定がある。
- ② 検討しているが、配置するかどうかは未定
- ③ 検討していないが、今後検討する予定である
- ④ 検討していないし、今後も配置の予定はない。

(4) すべての自治体にお伺いします
統括保健師の配置や活動についての課題はありますか。ご自由にお書きください。

()

2 貴自治体の保健師のキャリアラダー作成の状況についてお伺いします。

(1) 貴自治体独自の保健師のキャリアラダーを作成されましたか

- ① 作成した⇒(2)にお進みください
- ② 作成していない⇒(3)にお進みください

(2) 作成されている自治体にお伺いします。

具体的な活用方法について、当てはまるものすべてをお選びください（複数回答可）

- ① 新任期・中堅期・管理期の人材育成に活用
- ② 自己評価に活用
- ③ 人事面接に活用
- ④ 研修企画に活用
- ⑤ その他 ()

(3) 作成されていない自治体にお伺いします。現在どの検討段階にありますか

- ① 現在作成中である
- ② 既存のキャリアラダーを利用している
⇒既存のキャリアラダーの様式は、どこの機関が作成されたものですか

()

- ③ 未定である
- ④ 作成予定はない

3 地域包括ケアシステムの構築・推進についてお伺いします。

(1) 在宅医療・介護連携の推進に向けて、病院の看護管理者と行政保健師（管理又は統括業務に携わるもの）の連携をしていますか。

- ① 連携している⇒(2)にお進みください
- ② 今後、検討を予定している⇒(2)にお進みください
- ③ 連携していない⇒(3)にお進みください

(2) (1)で「①連携している」「②今後、検討を予定している」と回答の自治体にお伺いします。その内容についてお聞かせください。

()

(3) すべての自治体にお伺いします

在宅医療・介護連携の推進に向けての課題がありましたら、お聞かせください

()

4 全世代型の地域包括ケアシステムについてお伺いします。

(1) 子どもから高齢者までの全世代型の地域包括ケアシステムの構築・推進に向けて、貴自治体として取り組んでおられることがありますか。

- ① 取り組んでいる⇒(2)にお進みください
- ② 今後、検討を予定している⇒(2)にお進みください
- ③ 取り組んでいない⇒(3)にお進みください

(2) (1)で「①取り組んでいる」「②今後、検討を予定している」と回答の自治体にお伺いします。
その内容についてお聞かせください。

()

(3) すべての自治体にお伺いします

子どもから高齢者までの全世代型の地域包括ケアシステムの構築・推進に向けての課題がありましたら、お聞かせください。

()

5 保健師が抱えていると思われる課題についてお伺いします。

現在、貴自治体で働く保健師が抱えていると思われる課題について、具体的にお聞かせください。

()

最後までご協力いただき、ありがとうございました。

II 助産師職能委員会

委員長 藤谷圭子

1 活動目標	<p>1)助産実践能力の向上 2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 4)助産師出向事業の推進 5)助産師ネットワークの強化 6)広報活動の推進</p>
2 委員会開催	<p>委員会 6回 支部職能委員との合同会議2回</p>
3 活動内容	<p>1)助産実践能力の向上 (1)新人助産師研修の企画・運営・評価 6回 新人助産師研修受講者：17人、修了者：16人 公開講座受講者：助産師36人、看護師42人 (2)助産実践能力向上研修の企画・運営・評価 5回 受講者：助産師115人、保健師2人、看護師6人、准看護師1人</p> <p>2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 (1)支部助産師職能委員合同会議にて「産後2週間健診」「院内助産」「助産師外来」「産科混合病棟ユニット化」「アドバンス助産師更新」について情報共有しそれぞれについて意見交換を行う。 (2)助産師職能集会特別講演「困難な状況にある親への支援～地域精神医療の実践をふまえて精神的に不安定な保護者への支援方法を考える～」の開催 受講者：助産師34人、保健師2人</p> <p>3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 (1)支部助産師職能委員合同会議にて周産期医療体制について情報共有と意見交換</p> <p>4)助産師出向事業の推進 (1)山口県助産師出向支援導入事業の周知</p> <p>5)助産師ネットワークの強化 (1)支部との連携：合同会議 2回 (2)中国四国ワークショップ(in徳島県)参画と県内助産師の参加推進、報告</p> <p>6)広報活動の推進 (1)ホームページに職能集会及び研修報告を掲載 (2)助産師職能集会報告を会報「きらめき」(Vol.145)に掲載 (3)「産後ケア事業」における助産師の活動を会報「きらめき」(Vol.145)に掲載 (4)国際助産師の日・いいお産の日のイベントを各支部で開催 (5)「国際助産師の日」のリーフレットを改訂</p>
4 今後の課題等	<p>少子超高齢化が進展する中で山口県では分娩取扱施設の減少、助産師や産科医の地域偏在が課題となっている。すべての妊産褥婦と新生児に助産師のケアが提供できる体制を県全体で構築するために、現状の把握と課題を見出していくこと、そしてそれを支える助産師の実践能力向上を推進する活動を継続して取り組んでいくことが必要である。</p>

1 令和元年度助産師職能集会報告

令和元年7月7日助産師34人が集い、令和元年度助産師職能集会が開催された。平成30年度山口県看護協会助産師職能委員会事業報告（助産師職能委員会活動報告・支部助産師職能委員会活動報告）、平成30年度日本看護協会通常総会報告、平成30年度日本看護協会全国助産師交流集会報告、平成30年度研修報告（新人助産師研修・助産実践能力向上研修）が行われた。日本看護協会および山口県看護協会助産師職能の活動と助産師の役割を確認し合った。

事業報告のあと第1回助産実践能力向上研修として、大阪大谷大学の井上寿美先生の特別講演「『困難な状況にある』親への支援～地域精神医療の実践をふまえ精神的に不安定な保護者への支援方法を考える～」を開催した。特に「7つの当事者へのかかわり姿勢、①当事者の主体性尊重、②当事者の主観的事実重視、③当事者への温かい関心、④当事者との協働、⑤当事者に関わる周りの人との協働、⑥当事者に向けた自己開示、⑦当事者との関係をとおした自己省察」の大切さを強調された。受講者からは、先入観を持たず相手を理解し関わるのが大切、7つの関わりを大切にしていきたい、寄り添うというのは奥深い、似たような事例があり参考になった等の感想が寄せられた。「周産期における母子のメンタルヘルスケア」の理解を深めることができ、「妊娠期から子育て期まで切れ目のない看護・助産機能の強化」を推進する助産師職能集会となった。

2 令和元年度山口県新人助産師研修

目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

目標：新人助産師が求められる知識や技術の到達目標を完結することができる。

新人助産師同士の情報交換ができ、ネットワークを構築できる。

新人助産師の意欲、助産師観が高まり、早期離職の防止につながる。

第1回目（令和元年7月20日）

「新生児フィジカルアセスメント」	山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 松隈知恵 氏	新人助産師 17人	公開講座 31人
「ハイリスク新生児を持つ家族へのケア」	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織 氏	新人助産師 17人	公開講座 31人

助産師だけでなく、産科やNICUで勤務されている看護師の参加も多くあり、とても貴重な講義をきくことができ、今後の看護に活かしたいという感想が多くきかれた。

この日は新人助産師研修会開講式と交流会が開催された。開講式では山口県の新人助産師が共に学びあう仲間と助産師としての成長を誓うとともに、交流会では他己紹介や風船割りで楽しい時間を共有し、今後も励ましあえる新たな仲間作りの第一歩となった。

第2回目（令和元年8月10日）

「CTGモニタリング判読」	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 佐世正勝 氏	新人助産師 17人	公開講座 21人
「陣痛促進剤の適応と管理」	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 佐世正勝 氏	新人助産師 17人	公開講座 20人

助産師だけでなく産科やNICU勤務の看護師7人が受講された。「CTGモニタリング判読」について、ガイドラインに沿った説明と、胎児の生理・頻脈・徐脈の機序や事例の紹介などにより、理解を深めること

ができた。「陣痛促進剤使用の適応と管理」について、受講者からガイドラインに沿った管理を行い、母親と胎児の安全のために今後の管理に活かしたいという意見が多く、実りある研修会となった。

第3回目（令和元年10月5日）

「産科ショック(出血時の対応)」	鳥取県立中央病院 産婦人科総括部長 高橋弘幸 氏	新人助産師 17人	公開講座 7人
------------------	-----------------------------	--------------	------------

グループに分れ色々な症例を想定して、産科出血に関する場面のロールプレイを行った。産科危機的出血の起きた場面では、コマンダー（指示者）を決め、医師、助産師・看護師がそれぞれの役割を果たしていくこと、先を予測した行動が必要であることを改めて学ぶことができた。研修後の感想では「ロールプレイがよかった」「出血の予防、早期発見、対応に活かしたい」「個人病院で働いているが、搬送の時期について考えられた」「プロトコルにそった対応が素早くできるようになりたい」などの意見があった。現場で活かせる学びの深い研修となった。

第4回目（令和元年11月23日）

「母乳哺育支援」	山口県助産師会 桶谷式認定助産師 藤田房子 氏	新人助産師 17人	公開講座 11人
----------	----------------------------	--------------	-------------

乳房の解剖、母乳分泌のメカニズム、科学的根拠に基づいた母乳育児のメリット、基本的な母乳育児支援技術からトラブルや困難時の対応についてまで詳しい講義であった。お母さんに敗北感をもたせない声かけなど、気持ちに寄り添うことも大事であると感じた。午後からは参加者全員にゆで卵が配布され、搾乳時の力の入れ方の説明があった。その後、参加者一人一人に手を添えて、搾乳時の手の位置や力の入れ方を指導して頂いた。アンケートでは約半数の新人が日々のケアで悩んだり疑問を持ったりして難しさを感じていたが、受講後は「搾乳の演習がよかった」「授乳姿勢や声かけに活かしたい」「自信がなかった乳房ケアや搾乳方法を学ぶことができて良かった」「さっそく試してみたい」との前向きな声が多く聞かれた。楽しくたいへん充実した研修であった。



第5回目（令和元12月14日）

「ハイリスク妊産褥婦の病態と管理」	徳山中央病院 産婦人科部長 山縣芳明 氏	新人助産師 17人	公開講座 20人
-------------------	-------------------------	--------------	-------------

臨床でも遭遇する疾患を基礎から講義して頂き、今までの経験や知識を振り返ることが出来た。アンケートより、「ハイリスクな妊婦を看護することが多いので今後のケアに繋げていきたい」「今後ハイリスク妊婦を受け持つことが多くなるので講義で学んだことを活かしていきたい」「最新のガイドラインが組み込まれていた自分の病院でもガイドラインをもとにプロトコルを見直していこうと思った」など、臨床ですぐに活かしていきたいという意見が多く聞かれた。

第6回目（令和2年2月22日）

事例検討会 「心に残った場面」	講評：山口県立大学別科助産専攻 教授 浦山晶美 氏	新人助産師 16人
--------------------	------------------------------	--------------

「事例検討会」では4グループにわかれ、夜勤中に同時にいろいろなことがおきた場合、メンバーとしてどのような行動をとるべきかを考えた。どのような情報を取り、優先順位を考え、ほかのスタッフとどうコミュニケーションをとるかということ、また2年目への課題について意見交換をした。各グループとも積極的に話し合われ、他のグループ発表時には熱心に耳を傾けていた。アンケートから、他の人の意見を聞くことにより自分の知識やアセスメントの幅を広げるきっかけになったとの意見があった。

また午後からは一年間の経験の中で「心にのこった場面」の症例をそれぞれが発表した。様々な視点からの発表があり、他の病院での体験や学びを共有できたと思う。アンケートからも自分の病院で体験することのできないような症例を学ぶことができたという意見が多くみられた。山口県立大学浦山教授に一人一人の事例を講評していただき、自分自身の看護について振り返る機会となった。閉講式では修了証書授与と感謝の言葉の後に、山口県看護協会西生会長よりこのネットワークを大切にし、これから助産師として活躍して下さいとの激励を頂いた。閉講式後、一年前に自分宛に書いた手紙とプリセプターからの手紙を手にし、一年間の新人助産師研修を終了した。

3 令和元年度山口県助産実践能力向上研修

目的：助産師の助産実践能力の向上を図る

対象：助産師（公開講座として周産期医療に携わる看護職も対象とする）

第1回目（令和元年7月7日）

「困難な状況にある親への支援」	大阪大谷大学 助教 井上寿美 氏	助産師 34人	保健師 2人
-----------------	---------------------	------------	-----------

第2回目（令和元年9月15日）

「グリーフケア」	とよた歯科医院 歯科医師 武田康夫 氏	助産師 31人	看護師 5人	准看護師 1人
----------	------------------------	------------	-----------	------------

武田康夫先生は「子どもを亡くした親と家族を支える会（星の会）」の代表として出生後早くにお亡くなりになった子どもの家族のグリーフケアに取り組まれている。新生児の倫理、周産期のグリーフ、家族の思いを聴くという内容について講義があり、多くの事例から、実際にどのように関わったらよいのかヒントを得ることができた。また、実際に13トリソミーでお子様を亡くされた星の会の方がこれ、妊娠中の経過や出産後の関わりなど貴重な体験を話された。いのちについて考え、助産師、看護師として自分たちに何ができるのかを考えるよい機会となった。「祝福でいのちは歩み始める、希望がいのちを担いぬく。素晴らしい言葉です。もっと早く先生の勉強会に参加できたら良かった」「必ずしも祝福できないと思える出産があったが、そうではないことに気づいた」「実際に子どもさんを亡くされた星の会の方のお話を聞いて、悲しみは7年たっても変わらないことを知った」「グリーフケアには正解がなく、声掛けなど悩むことが多いがまずは第一に祝福の気持ちを持つこと、相手に寄り添うことを大切に関わりたい」「支えよう、支援しようではなく、共に歩むことを大切にしたいと思った」等々、多くの感想が寄せられました。

第3回目（令和元年12月7日）

「妊娠中から授乳期における栄養」	山口大学医学部附属病院 副栄養治療部長 有富早苗 氏	助産師 14人	看護師 1人
「新生児蘇生」	山口大学医学部附属病院 総合周産期 母子医療センター 木村 献 氏	助産師 14人	看護師 1人

過剰の体重増加に対し指導が厳しすぎると逆に低栄養に陥る場合がある。栄養指導を受け入れてもらうには相手の心を受け止め、寄り添うことが大切であると強調された。会場からの質問も多く活発な研修でした。「新生児蘇生」はドラマ“コウノドリ”に出演された木村先生に、NCP Rのポイント・新生児仮死・最近の知見について講義していただいた。さらに、3月から運用開始となる新生児用ドクターカー「すくすく号」の説明もありました。『状態が悪い赤ちゃんがいた時、赤ちゃんを助けられるのは皆さん一人ひとりです』印象に残る言葉でした。受講者からは、スタッフが順番で研修が受けられるように今後も研修会を開催してほしいとの要望があった。

第4回目（令和2年1月18日）

「臨床推論」	西南女学院大学助産別科 教授 田中満由美 氏	助産師 14人	看護師 1人
--------	---------------------------	------------	-----------

「臨床推論」がアドバンス助産師更新要件となったため、助産実践能力向上研修で企画した。臨床推論の基本的概念をはじめ、助産における臨床の意義・臨床推論に用いる基本的診断技術、症候診断のプロセスについて講義をされた。普段、日常的にアセスメントしていることこそが臨床推論であり、適切にアセスメントしていくことが、正常からの逸脱の有無などの判断に必要であることを改めて学ぶことが出来た。受講者から「暗黙的な行為を言語化することにより、看護・助産力を高められると思った」「異常の早期発見に役立てたい」「これからもアドバンス助産師更新に関連した研修を企画してほしい」との意見が寄せられた。

第5回目（令和2年2月8日）

「超音波画像診断装置の基本操作と手順」	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 佐世正勝 氏	助産師 20人
---------------------	---------------------------------------	------------



装置の構造や原理をはじめ、プローベの持ち方や検者の位置関係など、超音波画像診断装置を扱う上での基本的な手技について講義だけでなく実技を通して教えて頂いた。先生の解説をふまえながら、実際に妊婦さんのエコーを行ったり、参加者同士で膀胱や子宮の計測を実施した。また、シミュレータを使用し推定体重の算出など実際に装置に触れ学びを深めていった。「超音波画像診断装置を実際に触ることができ、助産師外来や分娩時の胎児の向きを判定するのに役立つ」「推定体重の測り方を知り、妊婦とのコミュニケーションが深まる」「分娩時の廻旋異常疑い時に超音波を活用しようと思う」など、臨床ですぐに活かしていきたいという意見が多く聞かれた。この研修が助産実践能力向上とともに助産師外来の推進に役立つことを期待しています。

Ⅲ 看護師職能委員会

委員長 折込沙世

<p>1 活動目標</p>	<p>1) よりよい看護が提供できるよう看護師職能が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る 2) 日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する 3) 健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する 4) 働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する</p>
<p>2 委員会開催</p>	<p>1) 職能委員会 8回 2) 支部職能委員会合同会議 1回 (R1.9開催、R2.3中止)</p>
<p>3 活動内容</p>	<p>1) 活動状況及び事業進捗状況 (1) 看護師職能委員会・支部職能委員長合同会議 ① 日本看護協会看護師職能委員会各領域の課題に対する情報収集・課題発見、調査への協力 【看護師職能Ⅰ部会】 「地域包括ケアシステム構築に向けた病院看護管理者と行政保健師の連携推進」 「地域包括ケアシステムにおいて病棟の看護師が担う役割を果たすために必要な人材育成」 【看護師職能Ⅱ部会】 「施設の看護管理者が考えるべきリスク管理、危機管理」 ② 各支部職能委員会の事業計画・活動報告及び、情報共有・意見交換と課題発見 ③ 令和2年度看護師職能集会、日本看護協会JNAラダーの導入・推進にむけた研修会・交流会の検討 ④ 介護施設等の医療的知識習得関係研修(認定看護師出前講座)開催についての検討 (2) 調査・研究活動 【看護師職能Ⅰ部会】 ① 日本看護協会看護師職能委員会Ⅰの課題である上記2点のテーマについて、県内146施設の病院看護管理者へ情報収集のための調査を実施し、地区別職能委員長会議にて報告 ② 平成30年度に実施した山口県内における日本看護協会JNAクリニカルラダーの活用・進捗状況に関する調査結果について研修会にて報告 (3) 連携強化および意識向上のための取り組み 【看護師職能Ⅰ部会】 ① 日本看護協会JNAラダーの導入・普及推進事業 JNAラダー作成にむけた講習会を企画・開催 JNAラダー活用・作成にむけて取り組む県内施設5施設を対象 受講希望施設を募集し、事前調査のもと5人のファシリテーターの指導・助言により自施設のラダー作成を推進(R1.10.23、R2.2.7実施) 4施設が作成・活用にむけた指導は修了 [資料1参照] 【看護師職能Ⅱ部会】 ① 介護施設等の医療的知識習得関係研修(認定看護師出前講座)の開催 目的：平成29年度に実施したⅡ領域で働く看護職の実態と抱えている課題についての調査結果に基づき、認定看護師等の人的資源活用による出前講座を医療介護連携による適切なサービスを提供する介護老人保健施設1施設、介護老人福祉施設4施設の計5施設にて実施 [資料2参照] ② 看護師職能Ⅱ領域交流会 (R2.3.28 中止) (4) 職能委員会活動の周知啓発活動 ① 支部職能委員会との連携強化、情報共有 ② 会報「きらめき」、ホームページの活用</p>

	<p>③山口県認定看護管理者の会においてⅠ・Ⅱ部会の活動と課題を報告</p> <p>(5)看護師職能集会、講演会</p> <p>①看護師職能集会開催 R1.6.22 参加者：63人 基調講演テーマ：「看護師がいきいきと働き続けるために」 ～看護師さん、ちょっと気楽にいきましょう!～ 講師： voice Academy CORDE 代表 白松あつ子 氏</p>
4 今後の課題等	<p>1) JNAクリニカルラダーの活用・普及推進にむけて、県内施設の支援(研修会・交流会等)を継続し、能力評価についても研修会開催を企画・運営していく。</p> <p>2) 令和元年度、県内146施設の病院看護管理者に実施した看護師職能Ⅰ部会の情報収集調査結果を受けて、今後、保健師の役割や活動について理解を深めるとともに、連携強化にむけた病院看護管理者と行政保健師の交流会等を検討する。</p> <p>3) 各支部との連携強化は重要であると考えため、支部委員交代に伴う引継ぎ体制を整備する必要がある。</p> <p>4) Ⅱ領域における介護施設等の医療的知識習得関係研修(認定看護師出前講座)の開催を拡大していく。</p> <p>5) 日本看護協会職能委員会は保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの4領域での議論が行われている。地域包括ケアシステム推進の観点からも、今後は看護師職能Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅領域)の独立体制の整備と課題の検討が必要である。 また、Ⅰ、Ⅱ部会との合同会議は、必要に応じて随時開催し、情報共有、連携を図る。</p>

令和元年度 看護師職能委員会 I 部会活動報告

委員長 折込 沙世

看護師のクリニカルラダー（JNA 版）の普及・推進にむけた活動

1. 看護師のクリニカルラダー（JNA 版）作成のための講習会実施

1) 目的

看護師個人にとっては、看護実践能力の自己評価・自己研鑽ツールとして、組織にとっては人材育成・教育支援ツールとして看護師を育成する教育体制を構築するため、各病院の組織理念や方針に沿ったクリニカルラダーの作成を支援する。

2) 開催場所 公益社団法人 山口県看護研修会館

3) 日時 令和元年10月23日、令和2年2月7日 10時～16時

4) 対象病院 自施設ラダーと JNA ラダーを融合したい施設、もしくは新しくラダーを作成したい病院を含め5施設

5) 作成にあたっての手順

(1)自施設のラダー担当者2名を決定。参加者1名は、教育担当の管理者（師長もしくは、副部長）が望ましい

(2)組織理念・目標・既存の自施設のラダーを事前提出

(3)看護師職能委員会が作成した事前の情報収集用紙を提出

(4)1施設につき、1名のファシリテーターが助言・指導

(5)1回目の講習会終了後の課題に取り組み、2回目の受講とする

(6)ファシリテーターは、講習会報告書を提出し、運営に活用する

(7)ファシリテーターは、看護師職能委員会と県協会が協議し選出

6) 講習会の実際

受講施設	ファシリテーター	
山口リハビリテーション病院	宇部記念病院 看護部長	東 由利子
防府リハビリテーション病院	宇部リハビリテーション病院 看護部長	西 島 陽 子
萩市民病院	長門総合病院 看護部長	花 島 まり
周南記念病院	徳山医師会病院 看護師長	山 本 美 紀
三田尻病院	小郡第一総合病院 看護師長	平 井 靖 子
JNAラダー作成支援担当者：	山口県看護協会 常務理事 山下美由紀 看護師職能委員長 小郡第一総合病院 看護部長 折込沙世	

(1)第1回講習会 令和元年10月23日

①施設のクリニカルラダーの現状

②クリニカルラダー導入・作成までのタイムスケジュール予定

③クリニカルラダー導入・作成にむけて現在抱えている課題

④ファシリテーターの指導・助言

⑤第1回講習会終了後、第2回講習会までの到達課題の明確化

(2)第2回講習会 令和2年2月7日

- ①クリニカルラダー導入・作成の到達度
- ②ファシリテーターの指導・助言
- ③施設における今後の課題の明確化
- ④次年度の講習会受講の継続の有無の確認



ファシリテーターによるマンツーマンでの助言・指導という支援体制とし、講習会終了後の報告書提出やファシリテーターの意見を集約しながら、講習会の進め方を検討・評価。施設間での作成状況は、受講開始時より差があったが、受講施設の担当者とファシリテーター相互の尽力により、今年度は4施設が受講を修了した。

☆ファシリテーターの指導・助言内容（抜粋）

- ラベルづけではなく、成長の支援ツールであることを忘れないこと
- 作成に悩んだときは、まずは日本看護協会の活用のための手引きに戻ることに
- 導入時期を明確にし、作成していくこと
- 看護管理者にクリニカルラダーについて周知すること
- スタッフへのクリニカルラダーシステム導入にむけての研修会を開催すること
- 言葉の定義の確認とイメージしやすい表現とすること
- 自施設で育てたい看護師像をレベル毎に明確化すること
- 評価表作成のポイントについての指導

7) 次年度の講習会開催にむけた課題や気づき（抜粋）

- 日本看護協会 クリニカルラダー導入 DVD 視聴は必須
- 看護部として自施設の「あるべき看護師像」を明確化（把握）しておく
- クリニカルラダー導入までのタイムスケジュールを作成し、提出しておく
- 自施設のトップマネージャーの思いを受講対象者が理解しておくことが必要

2. 令和2年度の計画

地域包括ケアシステム推進においては、地域包括ケアを支えることができる病院看護師の育成は重要であり、病院単位でなく、地域に必要な看護職の育成と役割発揮が求められている。

このことから、あらゆる場で、看護を提供できる能力を伸ばしていく必要があると言える。

クリニカルラダーの普及・推進にむけた支援活動の継続

令和2年度 クリニカルラダー研修会（能力評価を含む）・報告会の実施

クリニカルラダー講習会（5施設）実施

令和元年度 看護師職能委員会Ⅱ部会(介護・福祉医療施設・在宅等領域)活動報告

看護師職能委員会Ⅱ部会 東 由利子

1 目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、介護職員等の医療的知識の習得に向けた認定看護師の出前講座による研修を実施し、資質向上を推進する。

2 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう看取りケア、褥瘡ケア、摂食嚥下等といった看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4 研修実施日

令和元年10月25日～11月28日までの4日（計5回）

5 実施内容

1) 講座開催に向けての準備

(1)実施施設の選定

介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修開催にむけて意向調査を計201施設に実施（介護老人保健施設66施設、介護老人福祉施設135施設）。意向調査の結果41施設で開催希望があり（介護老人保健施設12施設、介護老人保健施設29施設）選定基準を設け5施設を決定。

〈選定基準〉

- ・開催地域の偏りをなくするため山口県内の東部、中部、西部、北部から選ぶ
- ・介護老人保健施設と介護老人福祉施設の中から織り交ぜて選ぶ
- ・開催希望施設の講座受講者の予定人数や開催時間、開催曜日を考慮する
- ・施設が希望する講座の内容について考慮する

(2)認定看護師の選定

実施施設決定後に、改めて講座内容について確認し専門分野の認定看護師5名を選定。

講座開催希望時間は、業務終了時間後に集中していたため、実施施設所在地の地区支部から認定看護師を選出。

(3)開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ部会委員、看護協会事務局の4者で日程を調整

2) 講座開催実績

(1)講座内容及び開催日（*は介護老人保健施設）

地域	支部	施設名	講座内容	開催日	時 間	参加人数
東部	柳井	松風苑	摂食嚥下	11月28日	18:00～19:00	62人
中部	防府	尚齒堂*	摂食嚥下	11月27日	18:15～19:15	97人
中部	山口	白松苑	看取り	10月25日	18:00～19:00	50人
西部	宇部	楠園	感染対策	11月22日	18:30～19:30	42人
北部	長門	養寿苑	感染対策	11月28日	18:00～19:00	39人

(2)出前講座派遣認定看護師

分野	氏名	施設名
摂食嚥下障害	野村 美保	柳井医療センター
摂食嚥下障害	田中 智子	山口県立総合医療センター
訪問看護	村上 智香	山口宇部医療センター
感染管理	山本 扶美江	山陽小野田市民病院
感染管理	松田 純一	長門総合病院

6 アンケート調査の結果

出前講座終了後、アンケート調査を実施し、看護師職能Ⅱ部会で評価・検討を行った。

1) アンケート調査結果による評価

アンケート調査対象者は出前講座受講生、出前講座実施施設、講師（認定看護師）、看護師職能委員とした。



(1)出前講座受講生を対象としたアンケート結果

①アンケート回収率 83.8%

	松風苑	尚歯堂	白松苑	楠園	養寿苑	計
参加者数	62	97	50	42	39	290
回収者数	60	75	50	34	24	243
回収率	96.8	77.3	100	80.9	61.5	83.8

②職種別参加状況

	松風苑	尚歯堂	白松苑	楠園	養寿苑	計	率
介護職	28	45	26	25	16	140	57.6
看護職	19	9	9	2	3	42	17.3
その他	12	19	15	6	5	57	23.5
未記入	1	2	0	1	0	4	1.6

介護職の参加が半数以上を占めた。また、その他の職員は、栄養士、事務職、理学療法士、リハビリ関係職員、放射線技師等で看護職の参加より多かった。

③研修内容に対する満足度について

	松風苑	尚歯堂	白松苑	楠園	養寿苑	計	率
満足できた	30	65	30	24	19	168	69.2
やや満足	28	10	18	9	5	70	28.8
やや不満	2	0	1	1	0	4	1.6
不満	0	0	0	0	0	0	0
未記入	0	0	1	0	0	1	0.4

研修内容については、満足できた、やや満足できたと答えた人が98%であった。やや不満と答えた人は、内容的なものではなく研修環境（マイクの音量、研修開催時間の設定）によるものであった。

④研修内容の理解度について

	松風苑	尚歯堂	白松苑	楠園	養寿苑	計	率
理解できた	30	61	30	22	18	161	66.3
やや理解できた	28	14	19	12	6	79	32.5
あまり理解できなかった	2	0	1	0	0	3	1.2
理解できなかった	0	0	0	0	0	0	0

理解度については、理解できた、やや理解できたと答えた人が98.8%であった。やや理解できなかったと答えた人の中には専門的な医療用語がわからなかったという人もあった。

⑤ 研修内容が今後の活動の中で実践できるか

	松風苑	尚歯堂	白松苑	楠園	養寿苑	計	率
できそう	29	48	24	25	21	147	60.5
ややできそう	30	25	21	9	3	88	36.2
あまりできそうでない	1	2	5	0	0	8	3.3
できそうにない	0	0	0	0	0	0	0

研修内容が今後の活動の中でできそう、ややできそうと答えた人が96.7%であった。あまり実践できそうでないと答えた8人については、看取りの講義を受けた人が5人、摂食嚥下の講義を受けた人が3人であった。

《受講生からの声》（抜粋）

- ・ 出前講座を受講することで新しい知識の習得をすることができた。
- ・ 自分たちもっと勉強しないといけないという気持ちになった。
- ・ 今までは介護の目線で考えていたが、いろいろな方向から見て考えることができて勉強になった。
- ・ この様な講座をもっと計画し実施してほしい。



(2)出前講座実施施設を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・ 今後も機会があればお願いしたい。
- ・ 各職員の意識向上や注意喚起につながったと思う。
- ・ これからも続けてお願いします。定期的に活用したい。

(3)講師（認定看護師）を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・ 地域での活動は連携強化のみならず、地域の感染拡大の抑止手段になると思う。
- ・ 地域へ活動を広げていきたいと思っていたので、このような機会を与えて頂いてとても有難かった。
- ・ 今回のような出前講座や定期的な出張訪問などで支援できるようになることを期待したい。
- ・ 自分たち以外の団体が間を調整して頂くことで、時間短縮ができて助かります。認定看護師の活躍の場が広がると考えます。

(4)看護師職能委員を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・ パソコンのバージョンによるスライドの不具合やマイク音量等の不備があった。事前に機材の確認をすべきだった。
- ・ 施設、講師、事業担当の3者の事前打ち合わせが不十分だった。
- ・ 資料配布について不備を生じた施設があった。
- ・ 夕方以降の開催を希望される施設が多いので、開催時期は晩秋や冬季以外を考えた方がよい。（交通事情の安全面考慮）

7 評価

認定看護師出前講座は、開催施設においておおむね好評であった。
研修目的である「医療的知識の習得を図り、よりよいケアを実施するための研修」を5施設において企画・実施できたことは、介護施設等の医療介護連携による適切なサービス提供の上で資質向上への一歩となったと考える。

1) 今年度の事業の振り返り・課題

- (1)事前意向調査では41施設の開催希望があったが、今年度は5施設の開催だった。
事業継続の要望も強く、来年度は研修開催を拡大していく必要がある。
- (2)講座当日の施設、看護師職能委員、事務局の役割分担を明確にする。
- (3)事前の打ち合わせを十分に行う。
- (4)講座開催時の会場環境について考慮が必要である。
- (5)夕方からの開催だったため、講座開催関係者は交通事情を考慮しての行動が必要である。また、開催時期の工夫も必要である。
- (6)同日開催は準備の混乱をきたすため、避けた方が望ましい。

8 令和2年度開催に向けての方向性

介護施設等からの事業継続要望は強いいため、開催を拡大していく



1) 講座の企画に関すること

- (1)開催時期 7月～11月 (夕方開催でも明るい時期が良い)
- (2)開催施設数 10～15 施設程度
- (3)開催曜日、開催時間、講座内容については、施設の要望に応える形で進めていく

2) 準備に関して

- (1)施設の担当者窓口を決めてもらい、講師、看護師職能委員等が必要に応じて連絡が取れる体制づくりを行う
- (2)当日の研修会場の準備、施設からの機材の貸し出し、講座運営に関して事前に施設に確認する
- (3)その他

- ①今年度実施した5施設については、来年度は選定の対象外とする。但し、認定看護師による研修会の開催を希望されているところは、認定看護師を紹介し、施設で企画・実施できるよう協力・支援する。
- ②今年度の出前講座開催については41施設から希望があった。今年度実施した5施設を除いても36施設の要望がある。新年度は新たな意向を調査したうえで、地域性や講座に関する内容等を加味した上で新しい10～15施設を選定する。
- ③各施設の要望に沿った講座を企画し、研修効果の上がる講座を開催するために、講座の開催は同日に重複して実施することのないよう企画する。
- ④介護施設が出前講座等で認定看護師の講座を受けやすいように認定看護師分野別の登録を推進して行きたい。

令和元年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会

委員長 種田嘉子

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等を検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)働き続けられる職場づくり推進研修会 (1)働き方改革研修会の開催 日時：R1.8.10 テーマ：働き方改革の実現に向けて 講師：社会保険労務士 宮川英之氏 内容：講演とグループワーク 対象：看護職、事務担当者、介護職など 参加者：64人(看護職57人、看護補助者3人、介護職4人)</p> <p>(2)働き方改革取り組み事例報告会の開催 日時：R2.1.11 事例報告：医療法人協愛会 阿知須共立病院 内容：働き方改革取り組み事例報告とグループワーク 対象：看護職等の医療従事者、事務担当者、介護職など 参加者：59人(看護職45人、看護補助者1人、介護職7人、事務職4人、リハビリ職2人)</p> <p>2)相談会 ・11月の開催に向けて募集を行ったが申込はなかった。</p> <p>3)医療勤務環境改善支援センター アドバイザー派遣への協力 ・看護職の派遣について今年度は依頼がなかった。</p> <p>4)日本看護協会主催による訪問型WLB支援の推進 ・病院等に呼びかけをしたが申込はなかった。</p>
4 今後の課題等	<p>4月から働き方改革関連法が施行され国の働き方改革が推進される中、働き続けられる職場づくりを目指して、今年度は働き方改革をテーマに研修会を開催した。働き方改革の講演や事例報告、グループワークを通して、自施設での課題や今後の取り組みについて考える契機となった。</p> <p>次年度は、「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して」の研修会を開催し、職場への導入を支援する。また、相談を希望する病院へアドバイザーを派遣し、施設が抱える課題に対して解決を図るための支援を行う予定。</p>

2 看護制度委員会

委員長 松本陽子

1 活動目標	1)就業している准看護師への支援を行う 2)准看護師の看護師資格取得を支援する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)准看護師スキルアップのための研修会と看護師資格取得支援のための交流会を合わせて実施 (1)研修内容 准看護師研修交流会開催 2回 (合計参加者：30人)</p>

	<p>①第1回 山口・防府医療圏：山口県看護研修会館にて開催 R1.10.19 参加者：19人 ②第2回 周南・柳井医療圏：周南記念病院にて開催 R1.11.9 参加者：11人</p> <p>(2)研修方法 前年度の准看護師研修交流会のアンケート結果をもとに受講者に必要な研修を実施</p> <p>①第1回 山口・防府医療圏：事例から学ぶ転倒・転落、見直そう！感染管理 ②第2回 周南・柳井医療圏：認知症ケアの基本とQ&A</p> <p>※感染・認知症ともに認定看護師を講師に招き研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師資格取得のための方法についてナースセンター職員により情報提供 ・看護師資格取得者参加の交流会では進学についての不安や悩みなどを聞き、経験を交えながらアドバイスなどを行った。
4 今後の課題等	<p>1) 准看護師研修交流会は今後も内容を検討し継続していく。 2) 准看護師への支援以外にも看護職が持つ課題を抽出し、役割や活動を検討していく。</p>

3 教育委員会

委員長 奥土久美子

1 活動目標	<p>1) 令和元年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2) 会員のニーズおよび令和元年度教育研修会の評価をふまえ、看護職のさらなる実践能力の向上につながる令和2年度教育研修を企画・立案する。 3) 教育研修立案に際して常任委員会および職能委員会、支部と連携し各委員、支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>
2 委員会開催	8回
3 活動内容	<p>1) 教育研修会の広報と実施</p> <p>(1) 看護実践能力養成講習会 39コマ(40日) 2コマ 中止 ①新人研修 1回 ②看護研究 3回 ③看護管理 4回 ④自己教育 3回 ⑤看護実践能力(JNAラダー)</p> <p>(ア) ニーズをとらえる力 5回 (イ) ケアする力 14回(内出張開催1回 山口労災病院) (ウ) 協働する力 6回 (エ) 意思決定を支える力 2回</p> <p>⑥アンケート枠 1回</p> <p>(2) 実績 受講者：4,687人／定員 5,320人 定員充足率：88.1%</p> <p>(3) 広報 令和元年度教育研修計画冊子、ホームページ、毎月の通送便に加え、研修内容を記し作成した告知スライドを昼休憩時間に投影し多くの会員へ研修を告知</p> <p>2) 教育研修の評価と令和2年度研修計画立案</p> <p>(1) 研修運営を担当した委員の報告と研修参加者のアンケート結果をもとに評価を実施 (2) 令和2年度の教育計画のポイントを定め、看護職に必要な知識と技術を検討し研修を企画。研修評価を加味しながら開催時期や募集人員を検討 (3) JNAラダーの4つの枠組みのバランスを考慮し研修を区分し、受講目安をラダーで分かりやすく標記 (4) 広報活動は、作成した告知スライドを昼休憩時間に投影</p> <p>3) 常任委員会、職能委員会および支部から研修希望を募り、それを基に研修テーマや講師を検討し研修計画に反映</p>
4 今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日看協をはじめとした情報収集 ・ 受講者からの声を形にしていけるようにする ・ 支部や他の委員会、研修等の情報共有や連携の強化 ・ 研修環境の充実

4 学会委員会

委員長 坂井浩美

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興を図る。
2 委員会開催	4回(新型コロナウイルス対策のために1回中止)
3 活動内容	1)第19回山口県看護研究学会の企画・準備(新型コロナウイルス感染症対策のために開催中止) 2)第19回山口県看護研究学会 抄録集の発行 3)第20回山口県看護研究学会の演題募集要項の内容検討

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 大林由美子

1 活動目標	1)改正カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和元年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と教育評価、修了審査 2)令和元年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 3)令和元年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と教育評価、修了審査 4)平成30年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修評価 5)平成30年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修に関する看護管理者アンケート結果の共有、会報「きらめき」への認定看護管理者研修運営委員会の活動報告の検討と原稿掲載 6)令和元年度看護管理者教育機関審査要項改訂箇所の確認と共有 7)平成30年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修の実施および評価 8)認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修審査基準の確認 9)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修受講者選考と決定 10)カリキュラム基準に対応した認定看護管理者教育課程運営の課題抽出と対応の検討 11)教育運営と受講者施設との連携に関する検討
4 今後の課題等	1)カリキュラム基準に対応した認定看護管理者教育課程運営の課題抽出と対応の検討 2)ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修課程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討 3)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修受講生に対する学習支援方法の検討

6 広報委員会

委員長 増野 由起子

1 活動目標	1)会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会・施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を掲載できるよう紙面の充実をはかる。 2)非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためホームページの充実や、協会員の増員につながる広報活動を推進する。 3)日本看護協会の取り組みや県内各施設の取り組みに対し、県内各地施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回

3 活動内容	<p>1) 会報「きらめき」発行を年3回行った。 (1) 発行時期：6月、10月、1月(会報号144号、145号、146号) (2) 実施内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲載内容・紙面形式の検討 ・ 原稿依頼 ・ 原稿の編集・校正 ・ 紙面構成の検討 ・ 印刷会社との打ち合わせ ・ 看護協会会員特典等の情報収集 <p>2) ホームページの充実 ブログの更新 3) Nursing Now周知のための広報活動 4) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集</p>
4 今後の課題等	<p>1) 引き続き県内各支部や委員会、施設の活動内容や魅力を伝えられるよう紙面の充実や掲載情報の収集を行っていく。 2) 看護協会員の増員のため、看護協会の認知度の向上や、新しい取り組みを伝えていく。</p>

7 推薦委員会

委員長 岩本千恵子

1 活動目標	<p>1) 役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2) 職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦</p>
2 委員会開催	2回
3 活動内容	<p>1) 第1回推薦委員会 (1) 推薦者の確認 2) 第2回推薦委員会 (1) 推薦委員の任務について (2) 委員長選出 (3) 各委員会の活動目標や活動状況の確認 (4) 委員推薦状況の確認、職能ごとに次期候補者の検討 (5) 各施設への電話連絡 (6) 各職能より候補選出進捗状況の確認 (7) 未決定候補者の再検討 (8) 各施設への電話連絡</p>
4 今後の課題等	<p>推薦委員会では、各職能の活動状況を理解し推薦を行った。今回、委員会は2回のみであったが、事務局と連絡を密にして行った。推薦を依頼する際には、どうしても会員数の多い施設を先に選択してしまうが、会員数の少ない施設では厳しいと感じた。 今後も円滑な看護協会活動の継続のために、適正な人材を推薦することが重要である。</p>

8 医療安全推進委員会

委員長 長松 美幸

1 活動目標	<p>1) 医療安全管理者の養成 2) 医療安全管理者の資質向上の推進 3) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
--------	---

2 委員会開催	5回
3 活動内容	<p>1) 医療安全管理者の養成</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修会の企画・運営・評価</p> <p>① 医療安全管理者養成研修会の開催 R1.8.2開講 7日間(R1.8.2～10.4) 45時間 修了者：53人</p> <p>② フォローアップ研修開催 R2.2.7 受講者：36人</p> <p>2) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>(1) 医療安全管理者スキルアップ研修会の企画・開催準備 R2.3.15予定であったが、開催中止となった。</p> <p>3) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>(1) 圏域代表者を招聘しての委員会開催 R1.10.29</p> <p>(2) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 医療安全管理者交流会 R1.12.20 参加者：31人 テーマ「おひとりさまの医療安全管理者、みなで集まって語り合おう」</p> <p>(3) 圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援</p> <p>4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p> <p>(1) 山口県看護協会会報「きらめき」へ医療安全情報の掲載(3回)</p> <p>① リスクマネジメントマニュアル冊子「看護職あなたのためのリスクマネジメント」第5版の発行および普及、啓発</p> <p>5) その他</p> <p>(1) 会報「きらめき」へ委員会活動報告</p>
4 今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理者養成研修修了者の現場での活動・活用が重要である。 ・ 専従・専任の医療安全管理者間の情報共有・連携が必要である。

9 災害支援委員会

委員長 木村直也

1 活動目標	<p>1) 山口県災害支援ナースの育成・推進</p> <p>2) 災害支援ナースの資質向上</p> <p>3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報</p>
2 委員会開催	8回
3 活動内容	<p>1) 山口県総合防災訓練への参加(開催場所：山口県岩国市) R1.6.9 参加者：4人(災害支援委員4人)</p> <p>2) 災害支援ナースの資質向上</p> <p>(1) 第1回災害支援ナースフォローアップ研修 研修テーマ：避難所運営を学ぼう！ ～机上のシミュレーションをとおして～ R1.8.17 受講者：92人</p> <p>(2) 第2回災害支援ナースフォローアップ研修 研修テーマ：避難所における災害支援ナースの活動シミュレーション R2.2.22 受講者：35人</p> <p>3) 災害支援ナース育成研修(基礎編)オンデマンド研修 研修テーマ：災害支援ナースへの第一歩～災害看護の基本的知識～ R1.7.30、31 受講者：63人</p> <p>4) 災害支援ナース育成研修(実務編) R1.12.6、7 修了者：38人</p> <p>5) 災害支援ナースの登録更新要件の検討のための調査報告</p>

	R2.3.7 山口県看護研究学会での発表準備(学会中止)
4 今後の課題等	<p>昨年度からの継続活動として災害支援ナース登録更新要件の検討を行ってきた。</p> <p>それらによると、各都道府県看護協会において、登録更新要件がさまざまで、統一されておらず、また、現時点では、日本看護協会でも、統一した指標については、言及していない。</p> <p>全国の災害支援ナースの質の維持向上のためには、日本看護協会が主導して、統一した指標を提示する事が望ましいと考えるが、その育成支援を担っている山口県看護協会としては、登録更新要件を策定する必要がある、災害支援ナースとしての資質の維持を図るとともに全国の質の平均化につなげたいと考える。</p> <p>また、継続教育として引き続きフォローアップ研修を行うが、支援活動においてリーダーシップをとれる人材の育成が課題となるため、フォローアップ研修における内容の改定を随時行っていく。</p>

10 在宅ケア推進委員会

委員長 柴崎恵子

1 活動目標	<p>1) 地域包括ケアの充実にに向けた在宅ケアの基盤整備</p> <p>2) 在宅療養を支える訪問看護の機能強化</p>
2 委員会開催	6回
3 活動内容	<p>1) 地域包括ケアの充実にに向けた在宅ケアの基盤整備</p> <p>(1)活動内容及び事業進歩状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケア推進委員会及び訪問看護師育成支援事業検討会 6回 ・訪問看護実践研修 岩国・長門・下関圏域(2年目) 柳井・周南・防府圏域(1年目) ・訪問看護研修ステップ1を看護職に公開 公開講座4回開催 ・訪問看護入門研修 R2.1.22 講義・演習 R2.2.4～2.21の期間で1日間 実習 参加者：11人 <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場で働く看護職が、在宅療養を支援するうえでの知識・技術を向上させ、訪問看護との連携を図ることができる看護職の連携強化 ・訪問看護事業所間の連携、医療機関、施設等との連携強化 ・多職種との共働・連携の強化 <p>2) 在宅療養を支える訪問看護の機能強化</p> <p>(1)活動内容及び事業進歩状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケア推進委員会 6回 ・訪問看護研修ステップ1 R1.5.16～12.12までの間180時間 講義 27日間 実習 3日間 病院見学実習 1日間 訪問看護ステーション見学実習 2日間 受講者：20人(修了者：19人) ・訪問看護師スキルアップ研修 R1.8.8～R2.2.16うち5日間 受講者：のべ：107人 ・訪問看護新任者研修 R2.1.22、3.4(延期) 受講者：24人 <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加率の向上、実践的で効果的な研修、講習会の企画・運営 ・訪問看護師として、自信と意欲を持って生きいきと活動し、働き続けることができる環境づくり
4 今後の課題等	在宅ケア推進委員会での委員会活動が、訪問看護師育成支援事業の企画だけで精いっぱい状況である中、今後の在宅ケア推進委員会の方向性と育成支援事業の運営方法を考えていく必要がある

報告事項2 令和2年度 事業計画

少子超高齢社会の人口・疾病構造変化を見据えた社会保障制度改革は病床の機能分化・連携の促進、地域包括ケアシステム構築の推進、また、それを担う医療従事者の確保・勤務環境の改善等の取組が2025年に向けて加速している。さらには、高齢者人口のピークが想定される2040年に向け医療提供体制の改革が進行している。

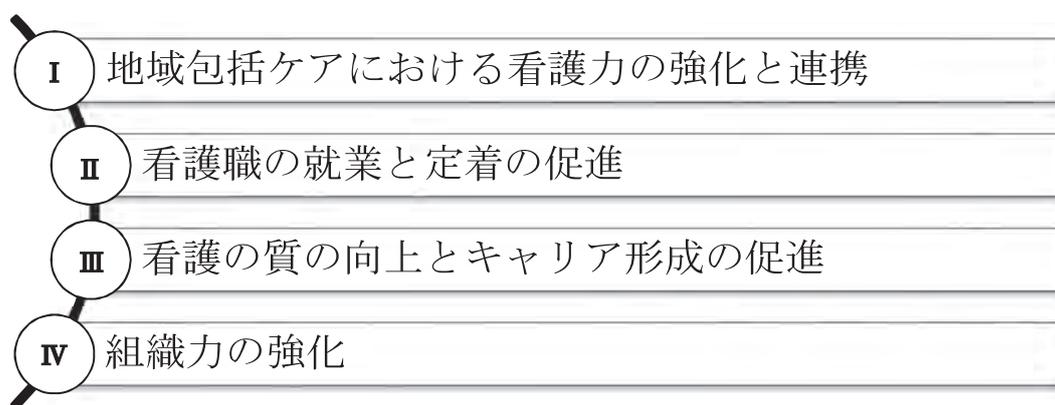
改革の柱である地域包括ケアシステムは、療養する高齢者だけでなく、子供を産み育てる人々、子供たち、障がいのある人々なども含む全ての人々の生活を地域で支えるものであるとされており、看護においては医療機関や施設等からの視点のみではなく、包括的で切れ目のないケアと、希望する場での暮らしのため地域全体を俯瞰することが求められている。

このためには、看護職一人ひとりの質・能力の向上、多様な場で働く看護職間の連携が不可欠であり、将来を見据えた看護教育の充実や関係機関への働きかけを続ける必要がある。

山口県内の看護職員就業者数は、平成30年12月末時点で25,105人であり、平成28年の同時期と比較すると905人増加している（衛生行政報告例）が、地域や就業場所の偏在により看護職不足が課題となっている。また、子育て支援の充実やワークライフバランスに係る意識変化に伴う夜勤従事者の不足や勤務形態の多様化等により看護の現場では、より強い看護職の不足感がある。今後、少子化が進む中で看護人材の確保、看護職が生涯を通して健康で働き続けられる環境の整備を推進する必要がある。

本協会が、看護職能団体として「生きるを、ともに、つくる」（日本看護協会タグライン）の役割を果たしていくためには、こうした多様な場に存在する看護職に応じた課題を抽出し、適宜適切な対策を講じることが肝要であり、それを実施できる組織力の強化が必要である。

これらを踏まえ、令和2年度は昨年度の重点方針を踏襲し以下の4点を重点方針として事業を行う。



また、多くの人々に看護の存在価値、存在意義についての理解を周知するとともに、看護職自らが看護の魅力に気づき看護力を発揮するための「Nursing Now キャンペーン」に取り組む。

令和2年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 地域包括ケアにおける看護力の強化と連携

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者数は、平成30年12月末には2年前と比較して介護保険施設等で597人、訪問看護事業所で115人増加している。看護職の働く場は病院や診療所といった医療機関だけではなく、介護施設や訪問看護ステーション、地域包括ケアセンターなど多様な場に拡大している。そのような中で、地域包括ケアを推進する上では、多様な場で働く看護職間の顔の見える連携が重要となる。

地域に根差した看護提供をめざすために、今年度は、本協会の常任委員会である在宅ケア推進委員会の活動内容を見直し、平成30年度より開始した、医療圏別の在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業との連携を図り、全県的な視野で地域における看護の役割に関する課題の検討を行う。

また、看護師職能委員会はⅡ領域（介護・福祉関係施設・在宅等領域）を独立させ、新たに看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）と看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）の2つの委員会として、就業者数が増加しているⅡ領域の活動を強化する。

【重点事業】

I-1 地域連携における看護の機能強化事業

- ・（拡充）在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化 県委託を含む
ポイント 在宅ケア推進委員会との連携、実施医療圏を8医療圏に拡大する

I-2 看護業務の質の向上に関する事業

- ・（拡充）保健師・助産師・看護師職能委員会Ⅰ・看護師職能委員会Ⅱの活動
ポイント 看護師職能委員会Ⅱの設置により職能委員会を4委員会とする
- ・（拡充）介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修 県委託
ポイント 実施施設を増やす

【他事業】

- ・訪問看護師育成支援事業 県委託
- ・訪問看護新任者研修

重点方針Ⅱ 看護職の就業と定着の促進

【事業概要】

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在があり、県北部の看護職不足や小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護職確保が課題となっている。子育て支援の充実やワークライフバランスに係る意識変化に伴う、夜勤従事者の不足や勤務形態の多様化等により看護の現場には強い看護職の不足感がある。その上、今後は少子化の進行に伴い新たな看護職の確保も一層厳しい状況が予測されることから、将来を踏まえ一人ひとりがやりがいを持って健康で働き続けられる持続可能な働き方、職場づくりが重要である。日本看護協会では、平成30年に「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して～」を公表しており、今年度は労働環境支援委員会において、看護管理者を対象とした「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の研修会を企画し、職場への導入を支援する。

【重点事業】

Ⅱ-1 働き続けられる職場づくり推進事業

- ・（拡充）働き続けられる職場づくりの啓発・支援
ポイント 新規 「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の研修会を開催
新規 セカンドキャリア世代の働き方支援
拡充 病院等施設へのアドバイザー派遣

【他事業】

- ・ナースセンター事業 県委託
- ・プレナース発掘事業 県委託

重点方針Ⅲ 看護の質の向上とキャリア形成の推進

【事業概要】

地域包括ケアシステム構築が推進される中で、急性期から在宅医療までそれぞれの場で多様化、高度化する看護職の役割を果たすためには看護職ひとり一人が個々のキャリアプランを立て、それに沿った能力の向上を図ることが必要である。本協会では教育研修計画を策定し、習熟度段階に合わせた看護職の能力向上や資格の取得を支援している。特に少子化による労働人口の減少を鑑みると、看護学生や新人看護師は将来を担う貴重な人材であり、職業人生の入口で挫折することが無いように指導・教育の体制を整えていく必要がある。また、超高齢化社会への対応として認知症看護の能力向上や介護施設における看護職等の資質向上も継続して取り組むことが必要である。今年度は昨年度からの事業内容を継続すると共に、保健・医療・福祉の現状を踏まえて会員のニーズに沿った内容の充実を図る。また、看護制度委員会の活動内容を見直し、保・助・看（准）三職能を対象とした看護制度全般に係る課題の検討と将来に向けた看護教育の課題等についても話し合う場を設ける。看護職の役割拡大が期待される中で、県内で特定行為研修が受講できる体制整備への働きかけを継続する。

【重点事業】

Ⅲ-1 看護業務の質の向上に関する事業

- ・（拡充） 看護制度の課題解決への取り組み

ポイント 新規 看護師養成校の教員との連携強化 学校訪問及び交流会開催
新規 専門領域の資格取得者（専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者）の交流会
看護チームにおける看護師、准看護師、看護補助者の適切な役割分担の推進
准看護師へのスキルアップ研修及び進学支援

【他事業】

- ・看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の導入支援
- ・保健師・助産師・看護師職能委員会活動 ・一般教育研修 ・認定看護管理者教育
- ・新人看護職員研修事業 県委託 ・助産実践能力向上事業 県委託
- ・実習指導強化推進事業 県委託 ・助産師出向支援導入事業 県委託
- ・看護職員認知症対応能力向上研修 県委託
- ・JNA 配信研修 ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
- ・医療安全推進事業 ・特定行為に関する看護師の研修制度の活用推進
- ・第20回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

少子、超高齢化、多死社会に向けての課題が様々な分野で顕在化し対策が検討されている。保健・医療・看護分野においても、社会保障改革の中で地域包括ケア、地域医療構想、働き方改革などに関連する取り組みが加速している。そのような中で、本協会には看護が担うべき役割を支援する迅速な情報発信や事業への取り組みが可能となる資金や人材といった組織力の強化が必要である。今年度は、組織力の強化に向けて会員数10,600人を目標とする2年計画の1年目として取り組む。また、昨年度までの日本看護協会の委託事業「看護政策推進のための組織強化事業」を本協会事業として継続する。看護管理者の会議を開催し、課題の共有や事業への反映を図ると共に、本協会と看護管理者及び看護管理者間のネットワークづくりを推進する。県協会の経営基盤の安定化のために財務の健全化への取り組みを継続する。

【重点事業】

Ⅳ-1 組織運営に関する事業

- ・（拡充） 看護政策推進のための組織強化事業

ポイント 看護管理者の会議等によるネットワークづくりを推進
理事会よりの委任事項として、入会促進に向けた対策を常務理事会で協議

【他事業】

- ・支部活動の充実 ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業 ・広報活動 ・他団体との連携

重点方針とは別に取り組む事業及びプロジェクト

1 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

本協会では3つの訪問看護ステーションを運営している。「とくち」や「あぶ」といった過疎地域では、公益社団法人として地域貢献の役割を担っている。しかし、3つの事業所の立地や規模等において経営面での課題を抱えている。昨年度は常務理事会において、短期的・長期的視点での運営の方向性について検討した。今年度はその報告を受けて具体策を検討するとともに実施に向けて進める。災害支援ナースの登録施設は89箇所、登録者は406名と他県と比較しても増加傾向にある。今後は登録者のスキルアップ研修を充実する必要がある。また、本県が被災県となった際の対策が喫緊の課題であることから、今年度は本協会内の災害支援体制の整備として受援時の要綱作成を行う。「まちの保健室」については、昨年度作成した「まちの保健室の運営要綱」に沿って実施し内容を評価する。

【事業】

- ・訪問看護ステーションの運営
- ・災害時の看護支援活動に関する事業
 - 【ポイント】 災害時の受援要綱の作成
- ・健康相談・啓発等の事業
 - 【ポイント】 「まちの保健室」活動での企業との連携による開催、「健康やまぐち21計画」事業への協賛
- ・「国際助産師の日」活動
- ・がん総合相談窓口の運営 県委託

2 プロジェクト事業 「Nursing Now キャンペーン」 in 山口

目標1 山口県民に看護の価値・魅力を伝えることができる。

目標2 看護職自ら看護の魅力に気づき看護の持つ力を十分に発揮する機会を作る。

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 36コマ40日程度
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間 ②認定看護管理者教育課程サードレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(ファーストレベル・サードレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 3日程度 ③教育担当者研修 5日程度 ④実地指導者研修 5日程度
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 ②助産実践能力向上研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②実習指導者養成講習会 43日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 3日程度 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 2回 ②災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～ 1回 ③JNAラダーの活用に関する研修 2回
(8)その他研修	①重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 1回 ②看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 ③クリニカルラダー作成支援のための講習会 2回
(9)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 6回程度
(10)日本看護協会との連携会議・ 研修への参加	①都道府県看護協会教育担当者会議
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修(7日間45時間の研修) 医療安全管理者養成研修フォローアップ(0.5日)

事業項目	主な事業内容
(2)医療安全推進事業	①医療の安全啓発 医療安全情報さらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の啓発・普及 電子版の活用促進
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取組みの支援。圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・研修受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 7回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全担当者会議 1回 ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修参加 1回
3)学会等学術集会に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	①第20回山口県看護研究学会 3月
(2)委員会	①学会委員会 5回
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 1回
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催 1回 調査の実施(看護職員離職者実態調査)
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・無料職業紹介

事業項目	主な事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者の登録 ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・求人情報の提供 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 連携事業連絡調整会議 2回 ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①再就業支援研修(地域施設研修) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力病院、施設 28施設 ・募集期間 2020年4月～2021年3月上旬 ・研修 随時実施 ・研修期間 5日程度 ②集合研修 2回 ③調整会議 1回 ④広報
(4)再就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①ハローワークでの出張相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・岩国、徳山、宇部、萩、下関、山口、防府のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③再就業にあたり必要な専門相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士 月1回 ④調整会議 3回 ⑤広報
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①サテライトでの相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・岩国・柳井地区、周南地区、山口地区、宇部地区、萩・長門地区、下関地区で実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②サテライトからの出張相談 <ul style="list-style-type: none"> ・求人施設からの相談対応 ・学校における進路説明・進学相談対応 ・看護学校訪問 ③調整会議 3回 ④広報
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①器材の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 7種 ②個人の技術演習 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 技術演習の希望者

事業項目	主な事業内容
(8)離職者・未就業者届出サポート(山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・演習日 2回/月(第1金曜日、第4火曜日) ・演習項目 採血・注射・吸引など ③広報 ①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供
(9)看護職員再就業支援相談会(山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①相談会の開催 県内2~3会場 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 再就業を希望する者 ・参加施設 中小規模の医療機関や訪問看護ステーション等 ②相談会のあり方検討会 2回
(10)会議等への出席	<ul style="list-style-type: none"> ①職業紹介責任者講習(全国民紹協) ②山口県看護職員確保対策協議会(県)
(11)日本看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター) ②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター) ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック
2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)	看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布
(2)1日ナース体験(山口県委託)	<p>対象 中学生、高校生 期間 夏休み期間 施設 参加協力施設</p>
(3)看護の魅力発見(山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①看護の魅力発見の開催 <ul style="list-style-type: none"> 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 実施施設：1日ナース体験受け入れ施設の中から5施設程度 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談 ②事業検討委員会 2回
(4)看護職員の学校訪問(山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校訪問の実施 年間をとおして月3回の訪問 <ul style="list-style-type: none"> 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話
3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーワークプレイス研修会 3日間コース ・アドバイザー派遣等による相談会 3件程度 ・セカンドキャリア世代への働き方の支援事業 1日間

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	看護労働担当者会議
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 (山口県委託)	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業	
(1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 10回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部連携として合同会議の開催 ④ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載 3回 ⑤ホームページ、会報・チラシによる情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②教育研修計画への参画 ③日本看護協主催の研修会受講
ウ 会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページによる情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 7回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修の企画・運営・評価 ③教育研修計画への参画
イ 包括的母子保健推進における看護機能の強化	①出産環境の体制整備 助産師出向支援導入事業の推進(助産師出向システムの周知徹底) ②産後ケア事業の推進 研修開催
ウ 災害時における周産期の体制整備と連携強化	①看護管理者会議の開催 ②災害対策状況の把握：各施設の備蓄等の一覧表を作成、不足しているもの補填

事業項目	主な事業内容
エ 助産師ネットワークの強化	③周産期防災マニュアル、災害時の対応や訓練状況についての情報共有 ①助産師職能集会開催 ②支部連携：年2回 支部合同会議、新人助産師研修の共同運営 ③中四国ワークショップ参画と県内助産師の参加推進
オ 広報活動推進	①「国際助産師の日」事業推進 ②ホームページ・会報「きらめき」の活用 ③セーフマザーフット基金の周知
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 12回 ②支部職能委員との合同会議(9月・3月) 2回 ③看護師職能Ⅱ合同会議 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 調査・研究活動	①「看護師のクリニカルラダー JNA版」の活用普及に向けた活動 JNAクリニカルラダーの活用・普及に向けて県内施設へ支援 能力評価についての研修会
イ 連携強化および意識向上のための取り組み	①病院管理者と行政保健師の連携強化に向けた活動 令和元年度に病院管理者(146施設)へのアンケート調査を実施。この結果を受けて、保健師の役割や活動等について理解を深めるとともに、連携強化に向けて病院管理者と行政保健師の交流会を検討 ②看護師職能委員会Ⅱとの連携 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力
ウ 職能委員会活動の周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用 ②ホームページの活用 ③支部職能委員会との連携強化、情報共有
エ 職能集会、職能活動	①看護師職能集会 1回 ②日本看護協会、支部との連携
(4) <u>拡</u> 看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ 12回 ②支部職能委員との合同会議(9月・3月) 2回 ③看護師職能Ⅰとの合同会議 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 調査・研究活動	① <u>拡</u> 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 10回程度
イ 連携強化および意識向上のための取り組み	①看護師職能Ⅱ領域交流会 1回 ②看護師職能委員会Ⅰとの連携 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力
ウ 職能委員会活動の周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用 ②ホームページの活用

事業項目	主な事業内容
エ 職能集会、職能活動	③支部職能委員会との連携強化、情報共有
(5)職能集会	①看護師職能集会 1回 ②日本看護協会、山口県看護協会との連携
(6)看護制度委員会	①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会 1回
ア 准看護師の支援	①看護制度委員会 7回
イ 〇看護制度の課題解決への取り組み	①准看護師へのスキルアップ研修及び看護資格取得支援のための交流会 1回
ウ 日本看護協会との連携	①看護教育現場の課題把握のための看護学校訪問 ②看護教育現場の教員との交流会 1回 ③専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者の課題把握のための交流会 1回
エ 広報活動	①全国准看護師担当役員会議
(7)助産師出向支援導入事業 (山口県委託事業)	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告 ①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回程度 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業報告会の開催

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)地域連携における看護の機能強化事業	
(1)〇在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化 (山口県委託事業 訪問看護師実践事業)	医療圏内の在宅療養支援に係る看護職員の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、訪問看護ステーション管理者、病院・施設看護管理者、地域包括支援センター保健師等で検討会を設置 ①県内8医療圏(岩国・柳井・周南・防府・宇部小野田・長門・萩・下関)で検討会の開催 各2回 ②県内8医療圏(岩国・柳井・周南・防府・宇部小野田・長門・萩・下関)で研修会・交流会等の開催 各3回
(2)〇在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会 7回 ②在宅療養を支える看護職の人材育成、離職防止 訪問看護新任者研修の開催 ③訪問看護師の看護実践能力の向上 ・訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動 ・最新情報の提供および訪問看護研修ステップ1の公開講座

事業項目	主な事業内容
(3)訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)	③看護職間の相互理解、連携強化の取り組み ・訪問看護研修ステップ1の公開講座 ①訪問看護師育成支援事業検討会 4回 ②訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) 5月～12月の間 180時間 30日程度(見学実習3日程度を含む) ③中堅者から管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 5回 ④訪問看護入門研修 2日間程度の企画・実施 1回 ⑤訪問看護実践研修の事業拡大
(4)日本看護協会及び関係団体との連携	①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回
2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営	①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2020への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布
3)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施	①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回 ②普及啓発グッズの配布

事業項目	主な事業内容
(2)「国際助産師の日」活動支援	③関係機関との連携推進 ④「まちの保健室」企業と連携 ⑤健康フェアへの出展 ①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)
(3)がん総合相談窓口の設置	①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 ②看護職者による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③相談窓口の積極的な利用の促進
4)災害時の看護支援活動に関する事業 (1)災害支援活動体制の整備、充実	①災害支援体制の整備・充実 ・災害支援要綱、災害派遣手順の見直し ・災害時の受援要綱の作成 ・災害支援ナース実践活動マニュアル周知 ・冊子および電子冊子の作成、啓発 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備 ②「災害支援ナース育成研修企画・指導者研修」への参加による指導・育成
(2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援	①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) JNA収録DVD研修 2回 ②災害支援ナースフォローアップ研修 2回 ③災害支援ナースの新規登録・登録更新 ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動
(3)平常時の防災活動の推進	①山口県総合防災訓練等への参加 ②災害支援物品の整備
(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会災害看護担当者会議 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
(5)委員会	①災害支援委員会 10回
5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日・看護週間行事開催	①11支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 ②ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 ③「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布
(2)看護のPR	①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ②職場体験 ③進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1) 日本看護協会との連携強化事業 (1) 諸会議への出席	※法人事業 ① 通常総会 6.11 ② 理事会 6回程度 ③ 法人委員会 年5回程度 ④ 代議員研修会 5.16 ⑤ 都道府県看護協会事務担当者会議 ⑥ 都道府県看護協会政策責任者会議 9.24 ⑦ 新会員情報体制システム(ナースシップ)担当者会議 ⑧ 全国准看護師制度担当役員会議 ⑨ 都道府県看護協会広報担当役員会議 ※公益事業 ⑩ 全国職能別交流会 6.12 ⑪ 全国職能委員長会 7.15 ⑫ 地区別職能委員長会 10.22、23 ⑬ 訪問看護連絡協議会全国会議 ⑭ ナースセンター事業担当者会議 5.28 ⑮ ナースセンター相談員研修 5.29 ⑯ 都道府県看護協会教育担当者会議 7.2 ⑰ 都道府県看護協会災害看護担当者会議 11.11 ⑱ 都道府県看護協会看護労働担当者会議 5.27 ⑲ 都道府県看護協会医療安全担当者会議
(2) 日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 研修会館の貸与事業 (1) 公益目的使用への施設の貸与	① 本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施

事業項目	主な事業内容
	④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援 ⑦レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) 6.28 ② 理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回程度 ・ 推薦委員会(※法人) 5回程度 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回程度 ・ 選挙管理委員会 1回程度 ・ 他、各種会議(※法人)
(3) 拡看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問 ・ 看護管理者会議 2回 ② 理事会よりの委任事項として、入会促進に向けた対策を常務理事会で協議 ③ 看護協会入会促進 ・ 入会促進用パンフレットの配布 訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・ 看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等
(4) <u>プロジェクト事業</u> Nursing Nowキャンペーン in山口	① 山口県民に看護の価値・魅力を伝える取組の実施 ② 看護職自ら看護の魅力に気づき看護の持つ力を十分に発揮する機会を作る取組の実施
4) 広報活動事業 (1) 広報活動	① 会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・ 年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布

事業項目	主な事業内容
(2)各種情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ①会員増加の推進(※収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」の配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会入会のご案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会事業案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・通郵便 1回/月 ・印刷物等(他団体のチラシ等)配布
5)他団体との連携	
(1)看護教育機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
(2)看護関連政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①要望・事業提案(※法人) <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携
(3)他団体との共催行事	<ul style="list-style-type: none"> ①医療関係団体新年互例会(※法人) ②医師会との懇談会(※法人) ③研修会等の後援 ④研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和2年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 2) 在宅現場の医療・看護・介護従事者とのスムーズな連携の仕組みづくり
支部集会	日 時：7月27日 会 場：国立病院機構岩国医療センター 研修センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修：支部研修会 1回 2) 職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 1回 3) 3支部合同看護マネジメント研究会(開催地 柳井市) 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し 支部会員に研修参加を働きかける
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催 まちの保健室で実施、各施設で実施 2) 「いいお産の日」啓発事業 1回 10月まちの保健室で実施 3) まちの保健室開催 5回予定(第3日曜日) *10月は岩国まつりにて 4) 進路相談 まちの保健室開催時に実施 5) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業(県受託事業) 訪問看護実践研修検討会 5回 研修会 3回 6) 地域包括ケア・認知症予防の啓発事業 岩国市地域包括ケア推進大会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰者推薦事業 2) 看護職交流会 1回(12月)
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学、卒業式祝電 2) 支部集会 1回 3) 支部役員会 6回 開催 4) 支部委員会 (1) 職能委員会 6回 (2) 教育委員会 6回 (3) 推薦委員会 2回 (4) 選挙管理委員会 1回 5) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R2.3.31)	494人(保健師 60人 助産師 17人 看護師 390人 准看護師 27人)

柳井支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2) 会員相互の親睦を図り、連携を深める
支部集会	日 時：7月4日 会 場：周東総合病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ①支部研修 1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 労働環境支援委員会開催の研修参加への声掛け
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」事業 (1) 看護の日及び看護週間行事 ①各施設で実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 8回 (2) 国際助産師の日事業 ①まちの保健室内で実施 3) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化 (1) 検討会の開催 (2) 研修会等の開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 表彰候補者の推薦 ①県協会への協力 (2) その他の事業 ①支部集会前研修会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席 (2) 看護学校 4校 入学・卒業祝電 2) 支部役員会 6回 3) 支部委員会 (1) 職能委員会：6回 (2) 教育委員会：6回 (3) 推薦委員会：6回 (4) 選挙管理委員会：6回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R2.3.31)	607人(保健師 42人 助産師 16人 看護師 501人 准看護師 48人)

周南支部事業計画

活動目標	1)会員の看護の質の向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
支部集会	日 時：7月18日 会 場：周南市立新南陽市民病院 2階会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育委員会担当研修 1回 ②職能委員会担当研修 1回 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会(柳井・岩国・周南：開催地 柳井支部) 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修会参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ①6回 (2)国際助産師の日事業 ①イベント「いいお産の日」1回 (3)進路相談 ①各施設で実施 (4)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 ①検討会3回、研修会3回 (5)その他 ①地域行事での救護協力 ②「リレーフォーライフジャパン2020やまぐち」に参加
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①山口県優良看護職員知事表彰の推薦 (2)その他の事業 ①看護管理者交流会(中堅看護師) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部集会 1回 2)支部役員会 6回 3)支部委員会 (1)職能委員会6回 (2)教育委員会5回 (3)推薦委員会1回 (4)選挙管理委員会1回 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿
支部会員数(R2.3.31)	1,780人(保健師 46人 助産師 57人 看護師 1,598人 准看護師 79人)

防府支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護力の強化 2) まちの保健室活動の充実
支部集会	日 時：7月4日 会 場：いちほな
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護研究指導研修 4回開催 講師：山口県立大学 中谷信江氏 受講者：各施設の看護研究グループ
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ① イオン防府店内で看護の日PR及び健康相談を実施 ② 各施設で実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 ① 常設まちの保健室・イベント型まちの保健室 10回 (2) 進路相談・看護職の就労支援 ① 各施設及びまちの保健室で実施 (3) 国際助産師の日事業 ① 国際助産師の日イベント 1回 (4) 保健師職能交流 ① 研修会 (5) その他の事業 ① 地域行事での救護協力 3) 地域連携における看護の機能強化事業 (1) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化 ① 検討会 2回 ② 研修会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 会員の福利厚生等に関する事業 (1) 表彰候補者の推薦 ① 県協会へ協力 (2) その他の事業 ① 親睦会 1回 開催
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 7回 開催 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 5回 (2) 教育委員会 5回 (3) 推薦委員会 2回 (4) 選挙管理委員会 1回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへ投稿
支部会員数(R2.3.31)	756人(保健師 41人 助産師 45人 看護師 657人 准看護師 13人)

山口支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の強化と連携
支部集会	日 時：7月4日 会 場：山口県労働者福祉文化中央会館
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 教育委員会企画研修会 1回 2)看護研究指導 1施設
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 各施設 2)まちの保健室開催 8回 3)国際助産師の日事業 いいお産の日イベント 1回 4)進路相談 各施設 5)地域連携推進委員会企画研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 5回 2)支部委員会 (1)職能委員会 5回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 4回 (4)地域連携推進委員会 5回 (5)選挙管理委員会 1回
支部会員数(R2.3.31)	1,470人(保健師 93人 助産師 48人 看護師 1,269人 准看護師 60人)

宇部支部事業計画

活動目標	地域ケアサービスの充実と看護職の連携強化
支部集会	日 時：7月4日 会 場：山口大学医学部附属病院 A棟1階 オーディトリウム
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 2回 ①7月：意思決定支援に関する研修 ②2月：看護研究に関する研修
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室：毎月第3土曜日に開催(7月以外) 助産活動2ヶ月に1回、いいお産の日活動：11月 (2)くすのきカンントリーマラソン大会への救護協力 3)断在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(小野田支部と合同) (1)検討会開催 (2)研修会開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)職能合同研修会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回 2)支部委員会 (1)職能委員会4回 (2)教育委員会5回 (3)推薦委員会2回 3)その他 (1)看護学校入学、戴帽式(祝辞)、卒業式への参加 (2)地域会議への出席(支部長) ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回 ②宇部市防災会議 1回 (3)市からの依頼 ①宇部市多職種連会研修会の受講者推薦 (4)広報活動 ①県協会報「きらめき」へ投稿 ②県協会ホームページへ投稿
支部会員数(R2.3.31)	2,038人(保健師 45人 助産師 47人 看護師 1,795人 准看護師 151人)

小野田支部事業計画

活動目標	地域包括ケアシステム推進の一助となるよう、地域に密着した事業を展開する 1) 支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る 2) 地域活動を通して地域の人々の健康向上に貢献する (Nursing Nowキャンペーンへ参加)
支部集会	日 時：7月4日 会 場：山口労災病院 図書棟2階講堂
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 支部研修会 2回：認定看護師を活用した実践スタイルの研修 (1)摂食嚥下 (2)WOC
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 県協会主催事業への協力 2) 働き続けられる職場づくり支援 疾病と就労の両立支援についての周知活動 3) 就業促進：看護師の仕事や看護職となるための方法について説明
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」行事開催：6施設で開催 2) 「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 3) 「まちの保健室」開催：年6回 4) 山陽小野田市主催 SOS健康フェスタへの参加 5) 看護体験実施：各施設で実施 6) 新在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(宇部支部と合同) (1) 検討会開催 (2) 研修会開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦：県協会への協力 2) 支部交流会の開催 2回 (1) 多職種交流会 (2) 支部会員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 5回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 4回 (2) 教育委員会 4回 (3) 推薦委員会 1回 (4) 選挙管理委員会 1回 3) 支部活動の充実 (1) 地域会議へ出席 (2) 看護学校式典参加
支部会員数(R2.3.31)	622人(保健師 35人 助産師 27人 看護師 549人 准看護師 11人)

長門支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 2) 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日 時：7月16日予定 会 場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 (2) WEB研修 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 看護研究指導 (2) 看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 2) 看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議：1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」、PR事業「Nursing Now」キャンペーン：看護の日・看護週間で施設毎に実施 2) まちの保健室 3) 国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4) 進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 (1) 検討会 2回 (2) 研修会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 2) 地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会：2回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 (2) 教育委員会 (3) 推薦委員会 (4) 選挙管理委員会 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」の投稿 (2) 支部広報誌「ふれあい」の作成
支部会員数(R2.3.31)	263人(保健師 15人 助産師 11人 看護師 214人 准看護師 23人)

萩支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携を強化し、萩医療圏の看護職の連携強化と課題解決に取り組む
支部集会	日 時：7月 会 場：萩市地域医療支援センター 大会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部研修会 1回 (2)三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	2)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 2)まちの保健室開催 10回 3)国際助産師の日事業 まちの保健室と同時開催 4)新在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(県委託事業) (1)検討会 2回 (2)研修会 3回 5)進路相談 (1)各施設で実施 (2)まちの保健室での実施 (3)中学生への職業講話 6)その他の事業 (1)地域行事での救護協力
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 (1)交流・親睦会 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 8回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 3回 (4)選挙管理委員会 2回
支部会員数(R2.3.31)	427人(保健師 28人 助産師 5人 看護師 281人 准看護師 113人)

豊浦支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職間の連携と看護力の強化 2) 看護の質向上
支部集会	日 時：7月4日 会 場：済生会豊浦病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 支部研修会2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 看護の日及び看護週間事業 各施設で開催 2) まちの保健室 10回開催予定 3) 国際助産師の日事業 豊北ファミリーフェスタに参加 4) 進路相談 各施設で実施 職場体験
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 県協会への協力 2) その他の事業 交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部役員会 6回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 (2) 教育委員会は役員会で開催 (3) 推薦委員会 1回 (4) 選挙管理委員会 1回
支部会員数(R2.3.31)	245人(保健師 3人 助産師 8人 看護師 221人 准看護師 13人)

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
支部集会	日 時：7月21日 会 場：安岡病院 地域交流ホーム
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催)2回開催予定、非会員も含む (1)医療に携わる者としての倫理～超高齢社会のACPを考える～ (2)高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談コーナー (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：常設2ヶ所(ゆめシティー・シーモール下関)年9回 (2)地域行事での救護協力(海峡マラソン・歴史ウォーク) 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(県委託事業) (1)検討会 4回 (2)研修会等 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) 1回 (2)会員交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 7回 (2)支部委員会 ①職能委員会 4回 ②教育委員会 4回 ③まちの保健室委員会 2回 ④推薦委員会 2回 ⑤選挙管理委員会 1回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入 施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける。
支部会員数(R2.3.31)	1,500人(保健師 63人 助産師 50人 看護師 1,338人 准看護師 49人)

令和2年度 職能委員会活動計画

I 保健師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1)保健師の連携強化およびネットワークの推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1)職能委員会 10回 2)支部職能委員長合同会議 2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1)保健師の連携強化およびネットワークの推進 <ul style="list-style-type: none"> (1)保健師職能集会の開催 (2)保健師職能交流会の開催 (3)職能委員会の開催 (4)支部連携としての合同会議の開催 (5)ホームページ、会報による情報発信 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1)研修会・交流会の実施 (2)教育研修計画への参画 (3)日本看護協会実施の研修会受講 3)会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1)保健師職能集会や交流会の開催 (2)リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 (3)ホームページ、会報による情報発信

II 助産師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1)助産実践能力の向上 2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 4)助産師ネットワークの強化 5)広報活動の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1)職能委員会 7回 2)支部職能委員長合同会議 2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1)助産実践能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1)新人助産師研修の企画、運営、評価 (2)助産実践能力向上研修の企画、運営、評価 (3)教育委員会の研修計画参画 2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> (1)出産環境の体制整備 <ul style="list-style-type: none"> 助産師出向支援導入事業の推進(助産師出向システムの周知徹底) (2)産後ケア事業の推進：研修開催 <ul style="list-style-type: none"> 助産師、行政側からの双方の意見、県内のあり方、連携の把握 3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 <ul style="list-style-type: none"> (1)看護管理者会議 (2)災害対策状況の把握：各施設の備蓄等の一覧表を作成、不足しているものの補填 (3)周産期防災マニュアル、災害時の対応や訓練状況についての情報共有

	<p>4)助産師ネットワークの強化 (1)助産師職能集会開催 (2)支部合同会議2回開催 (3)中国四国ワークショップへの参画と県内助産師の参加推進</p> <p>5)広報活動の推進 (1)「国際助産師の日」事業推進 (2)ホームページ・会報「きらめき」の活用</p>
--	---

Ⅲ 看護師職能委員会 I

1 活動目標	<p>1)よりよい看護が提供できるよう看護師職能が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る</p> <p>2)日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する</p> <p>3)健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する</p> <p>4)働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する</p>
2 委員会開催	<p>1)職能委員会 12回</p> <p>2)支部職能委員長合同会議 2回(9月、3月)</p> <p>3)看護師職能Ⅱ部会合同会議</p>
3 活動内容	<p>1)調査・研究活動 クリニカルラダーの活用・普及推進にむけた活動 目的：日本看護協会JNAクリニカルラダーの活用・普及推進にむけて、県内施設の支援(研修会・交流会等)を実施する。今年度は、6施設への支援を予定。能力評価についての研修会開催について検討。</p> <p>2)連携強化および意識向上のための取り組み (1)病院看護管理者と行政保健師の連携強化にむけた活動 令和元年度に病院看護管理者(146施設)へのアンケート調査を実施。この結果を受けて、保健師の役割や活動等について理解を深めるとともに、連携強化にむけた病院看護管理者と行政保健師の交流会等を今後検討</p> <p>(2)看護師職能委員会Ⅱとの連携 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力</p> <p>3)職能委員会活動の周知啓発活動 ・会報「きらめき」、ホームページ ・支部職能委員会との連携強化、情報共有</p> <p>4)職能集会、職能活動 ・看護師職能集会 年1回(令和2年6月27日開催予定) 基調講演テーマ：「PEP TALK 元気・活気・勇気を与えるトーク術(仮)」 講師：末永整骨院・光 代表取締役 末永成一氏 ・日本看護協会、支部との連携</p>

IV 看護師職能委員会Ⅱ

<p>1 活動目標</p>	<p>1)よりよい看護が提供できるよう看護師職能(介護・福祉関係施設、在宅等領域)が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る 2)日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する 3)健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する 4)働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する</p>
<p>2 委員会開催</p>	<p>1)職能委員会 12回 2)支部職能委員長合同会議 2回(9月、3月) 3)看護師職能Ⅰ部会合同会議(随時)</p>
<p>3 活動内容</p>	<p>1)調査・研究活動 (1)介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 目的：平成29年度に実施した、Ⅱ領域で働く看護職の実態と抱えている課題についての調査結果に基づき、認定看護師等の人的資源活用による研修会を開催し、看護職等の実践能力の向上を図る ・今年度は、県内10施設程度の開催を検討(7月～10月頃を目途に)</p> <p>2)連携強化および意識向上のための取り組み (1)看護師職能Ⅱ領域交流会(年1回) 目的：看護師職能Ⅱの連携を深めるために、グループワークを通して、看護職が抱える問題を共有し、課題解決に向けて前に進む。また、委員会強化に向けての意思統一を図る</p> <p>(2)看護師職能委員会Ⅰとの連携 情報交換、合同会議の開催、Ⅰ部研修会・交流会等への協力</p> <p>3)職能委員会活動の周知啓発活動 ・会報「きらめき」、ホームページ ・支部職能委員会との連携強化、情報共有</p> <p>4)職能集会、職能活動 ・看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 年1回(令和2年6月27日開催予定) 基調講演テーマ：「PEP TALK 元気・活気・勇気を与えるトーク術(仮)」 講師：末永整骨院・光 代表取締役 末永成一 氏 ・日本看護協会、支部との連携</p>

令和2年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の実施 テーマ:ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して 目的:看護職が生涯を通じて健康かつ安全に働き続けられるために必要な考え方やその視点および体制づくりについて学び、自施設での体制づくりへ繋げる 対象:看護管理者 研修内容:3日間コース(1日目・2日目公開講座) 2)アドバイザー派遣等による相談会の開催 目的:看護職員の勤務環境や教育体制等に課題を抱える病院等に対し、課題解決を図るため個別に相談・助言を行う 対象:アドバイザーへ相談を希望する病院等 3施設 アドバイザー:県内の認定看護管理者等(1施設につき2名) アドバイザー派遣回数:1施設につき3回程度 3)セカンドキャリア世代への働き方の支援を行うための研修会を開催 研修テーマ:これからのライフプランを考える 対象:山口県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わず) 内容:社会保険労務士によるライフプランの講義、セカンドキャリア世代を支援している施設の取り組みの紹介、セカンドキャリア世代で働いている看護職の事例紹介等

2 看護制度委員会

1 活動目標	1)看護制度における課題を抽出する。 2)看護職に期待される役割や活動について検討する。 3)准看護師の質向上と看護師資格取得を推進する。
2 委員会開催	7回程度
3 活動内容	1)看護学校教員と話し合いの場を持ち、教育現場の情報共有や課題抽出を行い、情報提供や課題解決に向けての継続的な方策について協議する。 2)専門分野の教育を受けた看護職(専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者)の交流会を行い、役割、活動内容等について検討する。 3)前年度の准看護師研修交流会のアンケート結果をもとに、受講者に必要な研修を実施する。 (1)研修内容 准看護師へのスキルアップ研修及び看護師資格取得支援のための交流会開催 ①インターネット配信研修 研修名:感染予防の基本、誤嚥を予防する食事介助の基本 ②ナースセンターによる看護師資格取得方法の紹介 4)広報活動 会報「きらめき」・ホームページへの活動報告

3 教育委員会

1 活動目標	<p>1)令和2年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>2)会員のニーズおよび令和2年度教育研修会の評価をふまえ、看護職のさらなる実践力の向上につながる令和3年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>3)教育研修立案に際して常任委員会および職能委員会、支部と連携し各委員会、支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>
2 委員会開催	10回
3 活動内容	<p>1)教育研修会の広報と実施</p> <p>(1)看護実践能力養成研修会 36コマ(40日) 新人研修 1回、看護研究 2回、看護管理 4回、自己教育関連 3回、看護実践力(JNAラダー：ニーズをとらえる力 5回、ケアする力 11回、協働する力 6回、意思決定を支える力 3回)、アンケート枠 1回</p> <p>2)研修の評価と次年度研修計画立案</p> <p>(1)令和2年度の教育研修の運営・評価</p> <p>(2)令和3年度の教育研修計画の企画・立案</p> <p>3)関係する委員会との連携</p> <p>常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を書面にて聴取し、各委員会、支部からの要望を考慮し立案する。</p>

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興を図る
2 委員会開催	5回程度
3 活動内容	<p>1)第20回山口県看護研究学会の開催</p> <p>2)第20回山口県看護研究学会に関する冊子の発行</p> <p>3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討</p>

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	<p>1)改正カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価</p> <p>2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進</p>
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R2.4.24～R2.9.5 32日間</p> <p>2)令和2年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R2.4.14～R2.5.15 募集定員：70人</p> <p>3)令和2年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R2.10.1～11.27 19日間</p> <p>4)令和元年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修支援、評価</p>

	<p>研修日：R2.7.2</p> <p>5)令和2年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修受講者選考と決定 募集開始：R3.1</p> <p>6)改正カリキュラム基準に対応した認定看護管理者教育課程運営の課題抽出と対応の検討</p> <p>7)ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修課程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討</p>
--	--

6 広報委員会

1 活動目標	<p>1)会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し、紙面の充実をはかる</p> <p>2)非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためホームページの充実や、協会の増員につながる広報活動を推進する</p> <p>3)日本看護協会の取り組みや県内各地施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う</p>
2 委員会開催	6回
3 活動内容	<p>1)会報「きらめき」発行を年3回行う (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号147号、148号、149号) (2)実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等</p> <p>2)ホームページの充実 プログの更新</p> <p>3)Nursing Now周知のための広報活動</p> <p>4)県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集</p>

7 医療安全推進委員会

1 活動目標	<p>1)医療安全管理者の養成</p> <p>2)医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>3)医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>4)医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
2 委員会開催	7回(うち1回は圏域代表を招集して開催する)
3 活動内容	<p>1)医療安全管理者養成研修会の企画・運営・評価 ・研修修了者のフォローアップ研修企画の見直し</p> <p>2)医療安全管理者スキルアップ研修会の企画・運営・評価</p> <p>3)山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価(2回開催) (1)圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 (2)現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画</p> <p>4)会報「きらめき」に医療安全情報を掲載する(年3回)</p> <p>5)医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動を支援する</p> <p>6)県協会の一般教育研修に、医療・看護安全管理のための研修提案を行う</p> <p>7)「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及を行う</p>

8 災害支援委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 災害支援活動体制の整備・充実 2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2 委員会開催	10回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 委員会内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害支援ナース育成研修の内容の検討 (2) 災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 (3) 山口県総合防災訓練における展示・広報の内容の検討と準備 2) 研修開催内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害支援ナース育成研修 基礎編 2日間(オンデマンド研修) (2) 災害支援ナース育成研修 実務編 2日間 (3) 災害支援ナースフォローアップ研修 1日間 2回開催予定 (4) 意見交換会(災害派遣があった場合) 3) その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 山口県総合防災訓練(周南市) (2) 関係機関、団体との協働、協力 (3) 看護管理者対象の災害支援ナースについて研修

9 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアの充実に向けた在宅ケアの基盤整備 2) 在宅療養生活を支える看護の機能強化 3) 多職種との共働、連携の強化
2 委員会開催	7回(訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催2回を含む)
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアの充実に向けた在宅ケアの基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 在宅ケアの基盤整備にむけて、方向性を探るための現状把握、委員会活動方針の検討 (2) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(山口県委託事業 訪問看護実践研修)との連携・協働 (3) 在宅ケアに関する会議・研修の参加および企画 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職間の相互理解を更に深めるため「訪問看護入門研修(2日間程度：講義1日、見学実習1日)」の企画・実施・評価、看護職間連携企画等への参画 (4) 山口県訪問看護推進協議会への出席 2) 在宅療養生活を支える看護の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能委員会Ⅱ等の委員会や支部との連携・協同および情報共有 (2) 訪問看護師育成支援事業検討会との連携・協同 (3) 訪問看護の人材確保・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護新任者研修の企画・実施・評価 ・看護師のクリニカルラダー(訪問看護における実践例)の周知、普及 3) 多職種との協働、連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 多職種、関係団体の研修、会議等への積極的な参加と情報提供

報告事項3 令和2年度 収支予算書

(別 冊)